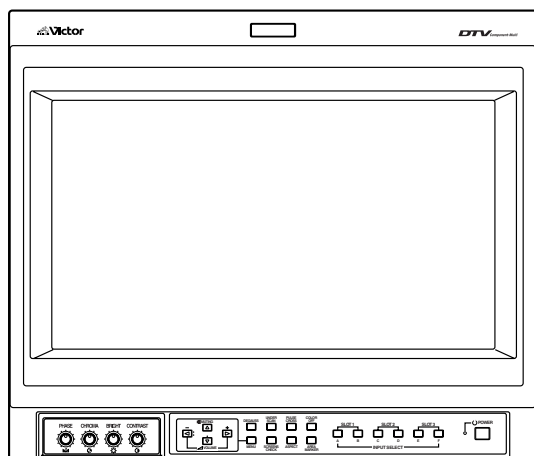


ビクターマルチフォーマットモニター

型名 DT-V1910C DT-V1710C



イラストは付属のワイドマスクを取り付けた状態です。
(DT-V1710C)

本機のみでは映像・音声信号を入力できません。別売のインプットカードが必要です。

この説明書ではインプットカードを取り付けた状態で説明をしています。(一部を除く)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために大切に保存してください。

目次	
	ページ
安全上のご注意	2
各部のなまえと使いかた	6
■前面	6
■背面・側面	9
■インプットカード	10
準備	14
■インプットカードの取り付けかた	14
■ワイドマスクの取り付けかた	14
■POWER CORD HOLDERの 取り付けかた	15
メニューの基本操作	16
●メニューの概要	16
●メニュー操作に使用するボタン	16
●メニューを表示するには	17
●メニュー操作手順	17
●「+ sub-menu」について	17
●「reset」について	17
「MAIN MENU」の使いかた	18
●「MAIN MENU」一覧	18
●各項目の機能・内容と調整・設定範囲	19
「SETUP MENU」の使いかた	21
●「SETUP MENU」一覧	21
●各項目の機能・内容と調整・設定範囲	22
外部制御の使いかた	27
故障かなと思うまえに (トラブルシューティング)	29
●自己診断表示	31
保証とアフターサービス	32
主な仕様	33


安全上のご注意


「安全上のご注意」は、モニター全般に共通する内容を記載しています。

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。

これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

 **警告** この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

 **注意** この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号



一般的注意



指をはさまれないよう注意



感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号



禁止



水場での使用禁止



ぬれ手禁止



分解禁止



接触禁止



水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



電源プラグを抜く



一般的指示



アース線をつなぐ

警告

万一、次のような異常が発生したときは

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
- モニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
- モニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。



このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

転倒防止の処置をしてください

地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。地震などで転倒すると、けがをする原因となります。

詳しくは販売店にご相談ください。



■消磁器を使って、外部からブラウン管の消磁をおこなわないでください。

ブラウン管のアパチャーグリルが変形し、故障の原因となることがあります。



安全上のご注意 (つづき)

警告

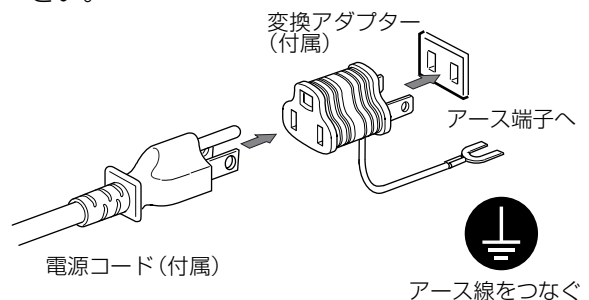
設置するときの警告

- 不安定な場所に置かない
ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。
- モニターの通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。次のことにご注意ください。
 - ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
 - ・じゅうたんや布団などの上に置かない
 - ・テーブルクロスなどを掛けない
 - ・横倒し、逆さま、あお向けにしない
- 指定の電源電圧 (交流 100V) 以外で使用しない
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 壁や他の機器と間隔をあけて設置する
内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のことに注意してください。
 - ・壁や家具などから 10cm 以上離す
 - ・他の機器との間隔をあける
 - ・ラックなどに入れたときは機器の天面から 10cm 以上、背面 10cm 以上すき間をあける

注意

設置するときの注意

- 次のような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。
 - ・湿気やほこりの多いところ
 - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたる場所
 - ・熱器具の近く
 - ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。
- 機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、モニターの電源コードはモニター本体につないでから、壁のコンセントに差ししてください。
- 電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く
壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、モニター本体側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグをもって抜いてください。
- モニターの上に他の機器を載せたまま移動しない
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。
- 移動するときは接続コード類を外す
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。また、モニターは前面側が重いので必ず2人以上で、バランスに気をつけて持ってください。
- キャスト付きの台に乗せるときは、キャストを固定する
キャスト止め (受け皿など) で動かないようにしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 安全アースを接続する
安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。
 - ・電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを接続すると、安全アースも接続されます。
 - ・電源コンセントが2極の場合
付属の変換アダプターをつなぎ、変換アダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子につないでください。
 - ・アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。



安全上のご注意 (つづき)

警告

使用するときの警告

●モニター内部に物を入れない

金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。



●モニターに水をかけない

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。水などの入った容器(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)は、こぼれたりしますので、モニターの上に置かないでください。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。



●電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●モニターの裏ぶた(カバー)は外さない

モニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



●モニターを改造しない

火災・感電の原因となります。



●電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。



●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



注意

使用するときの注意

●モニターの上に物を置かない

重いものやモニター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



●電源プラグはコードの部分を持って抜かない

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。



●モニターの上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。



●長期間モニターを使用しないときは、電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。



●根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しない

発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



●お手入れをするときは電源コード(電源プラグ)を抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



安全上のご注意 (つづき)

注意

使用するときの注意 (つづき)

- 5年に一度はモニター内部の掃除を販売店に依頼する

モニターの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



- 長時間、スピーカーの音がひずんだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持ったかたが操作してください。

見る場所について

- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ることも目を疲れさせますのでよくありません。ときどき目を休めてください。

- 設置状況や環境によって画像が揺れるときは、使用しないでください。視力低下の原因となります。

磁気に対する注意について

- 磁石、スピーカー、電気時計、磁石を使用している機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて色が乱れたり、画面が揺れたりすることがあります。また、高圧送電線や変圧器など強い磁界を発生する機器の近くには設置しないでください。
- モニターに外部スピーカーを近づける場合は、画面が影響を受けるおそれがあります。近くにスピーカーを設置するときは防磁スピーカーをお使いください。

ブラウン管の焼き付きについて

- 同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さない
ブラウン管に画像が焼き付くことがあります。通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

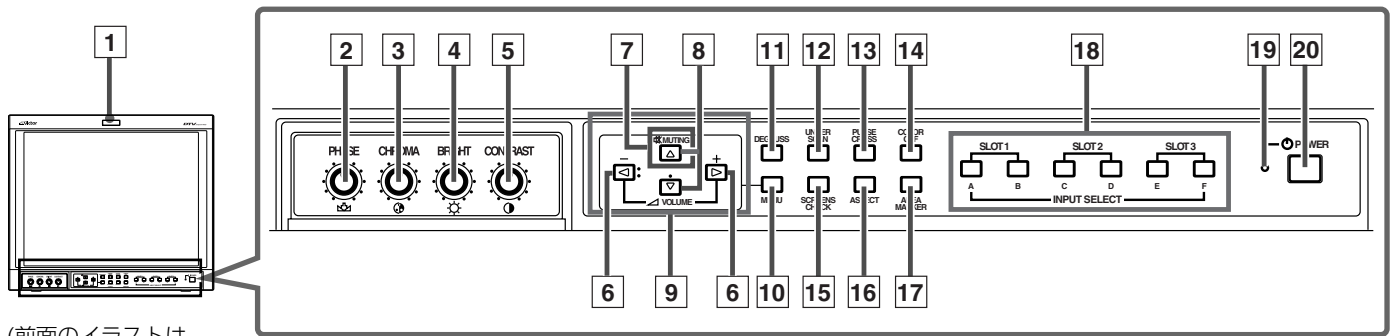
お手入れのしかた

- キャビネットやブラウン管面の汚れは
柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
- キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
 - ・ 堅い布でふかない
 - ・ 強くふかない
 - ・ シンナーやベンジンでふかない (溶剤系のクリーナーなど)
 - ・ 殺虫剤など揮発性のものをかけない
 - ・ ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

各部のなまえと使いかた

前面

<前面操作部>



(前面のイラストは DT-V1710C です。)

1 タリーランプ

タリーランプが点灯 / 消灯します。
MAKE/TRIGGER 端子の TALLY 機能を使って制御します。

- 詳しくは 27 ページの「MAKE/TRIGGER 端子の使い方」をお読みください。
- ・「TALLY SELECT」設定で、タリーランプの点灯色を赤色と緑色の中から選べます。
→ 詳しくは 22 ページの「TALLY SELECT」の説明をお読みください。

2 PHASE (色相) 調節つまみ

映像の色あい (色相) を調節します。

3 CHROMA (色の濃さ) 調節つまみ

映像の色の濃さを調節します。

4 BRIGHT (明るさ) 調節つまみ

映像の明るさを調節します。

5 CONTRAST (コントラスト) 調節つまみ

映像のコントラストを調節します。

6 VOLUME (音量) ボタン

スピーカーの音量を調節します。
・「-」ボタンか「+」ボタンを押して、画面に VOLUME バーを表示します。その状態で「-」ボタンか「+」ボタンを押して音量を調節します。

7 MUTING (消音) ボタン

スピーカーからの音を消音 (ミュート) します。
・消音状態 (MUTING ON) を解除するには、もう一度このボタンを押すか、VOLUME ボタンの「-」ボタンか「+」ボタンを押します。

お知らせ

- ・画面にメニューを表示しているときは、このボタンは MUTING (消音) ボタンとしては使えません。△ボタンとして働きます。

8 音声チャンネル切り替えボタン

EMBEDDED AUDIOの音声チャンネルを切り替えます。
・VOLUME ボタンの「-」ボタンか「+」ボタンを押して画面に VOLUME バーを表示します。その状態で ▽ ボタン、または △ ボタンを押して音声チャンネルを切り替えます。

お知らせ

- ・EMBEDDED AUDIO 対応のインプットカードを装着した時だけ使えます。
- ・1 チャンネルから 8 チャンネルの音声チャンネルを選択できます。
- ・選択可能な音声チャンネルのグループを、前もって「E.AUDIO GROUP」に設定しておく必要があります
→ 詳しくは 23 ページの「E.AUDIO GROUP」の説明をお読みください。

9 ◀/▶/△/▽ボタン

画面にメニューを表示したときに使います。

- 詳しくは 16 ページの「メニューの基本操作」をお読みください。

10 MENU ボタン

画面に「MAIN MENU」を表示します。

- 詳しくは 16 ページの「メニューの基本操作」をお読みください。

お知らせ

MENU ボタンで「SETUP MENU」を表示することはできません。「SETUP MENU」を表示するには ▽ ボタンを押したまま ◀ ボタンを押してください。

11 DEGAUSS (消磁) ボタン/ランプ

ブラウン管の消磁をします。

消磁中はランプが点灯し、消磁が終了するとランプが消えます。

12 UNDER SCAN (アンダースキャン) ボタン/ランプ

アンダースキャンの状態 (映像全体を確認できる状態) になります。

- アンダースキャン中は、ランプが点灯します。

お知らせ

- RGB 入力時は、このボタンは使えません。

13 PULSE CROSS (パルスクロス) ボタン/ランプ

パルスクロスの状態 (映像の水平/垂直位置を移動した状態) になります。

- パルスクロス中は、ランプが点灯します。

お知らせ

- RGB 入力時は、このボタンは使えません。

14 COLOR OFF (カラーオフ) ボタン/ランプ

カラーオフの状態 (輝度信号のみの映像) になります。

- カラーオフ中は、ランプが点灯します。

お知らせ

- RGB 入力時は、このボタンは使えません。

15 SCREENS CHECK (スクリーンチェック) ボタン/ランプ

映像信号に含まれる R、G、B の信号成分を個別に表示します。(スクリーンチェック状態)

- このボタンを押すたびに、映像が次のように切り替わります。

通常の映像 → R 信号成分のみ → G 信号成分のみ
↑
← B 信号成分のみ ←

- スクリーンチェック中は、ランプが点灯します。

お知らせ

- RGB 入力時は、このボタンは使えません。

16 ASPECT (アスペクト) ボタン/ランプ

映像のアスペクト比を 4:3 から 16:9 に切り替えます。

- もう一度このボタンを押すと、元のアスペクト比に戻ります。
- アスペクト比を 16:9 に切り替えている間は、ランプが点灯します。

お知らせ

- RGB 入力時は、このボタンは使えません。

17 AREA MARKER ボタン/ランプ

AREA MARKER 機能をオン/オフします。

- AREA MARKER 機能には、MARKER 機能、ZOOM 機能および SAFETY AREA 機能の 3 つの機能が含まれます。
→ 詳しくは 19 ページと 20 ページの「AREA MARKER」の説明をお読みください。
- AREA MARKER 機能がオンのときは、ランプが点灯します。

お知らせ

- 「AREA MARKER」メニューで「OFF」に設定している機能は働きません。
- 「AREA MARKER」メニューの各機能の初期値は「OFF」です。まず「AREA MARKER」メニューの設定を変更してから AREA MARKER 機能を使ってください。
→ 詳しくは 19 ページと 20 ページの「AREA MARKER」の説明をお読みください。
- RGB 入力時は、このボタンは使えません。
- アンダースキャン中は、AREA MARKER 機能の中の ZOOM 機能は働きません。

■各部のなまえと使いかた (つづき)

18 INPUT SELECT ボタン

本機のスロットに挿入したインプットカードの入力を選びます。

SLOT1 の入力選択：A または B

SLOT2 の入力選択：C または D

SLOT3 の入力選択：E または F

→ インプットカードの各入力と INPUT SELECT ボタンの関係については 10～13 ページのインプットカードの説明をお読みください。

- 現在選択している入力の INPUT SELECT ボタンが点灯します。
- 入力を切り替えると、その入力のステータス表示を約 3 秒間、画面に表示します。
- 現在のステータス表示を再度表示するには、点灯している INPUT SELECT ボタンを押します。

■ ステータス表示について

現在選んでいる入力に関する情報、及びモニターの設定状態を表示します。

INPUT C 選択している入力

VIDEO インプットカードの状態 (*1)

NTSC 信号フォーマット (*2)

HIGH 「COLOR TEMP.」の設定状態 (*3)

EXT SYNC 外部同期のときに表示します。(*4)

*1 注：

- インプットカードが挿入されていない入力を選ぶと「NO SLOT」と表示します。
- コンポーネント/RGBインプットカードでコンポーネント入力を選ぶと「COMP.」、RGB 入力を選ぶと「RGB」と表示します。
- ビデオインプットカードで VIDEO2 を S 映像入力にした場合、「VIDEO(Y/C)」と表示します。

*2 注：

- 映像信号が入力されていない場合、「NO SYNC」と表示します。
- 「SYNC SELECT」を「EXT」(外部)に設定していると、映像信号を入力していても同期信号が入力されていない場合に「NO SYNC」と表示します。「SYNC SELECT」については 22 ページの「SYNC SELECT」の説明をお読みください。

*3 注：

「COLOR TEMP.」設定については 23 ページの「COLOR TEMP.」の説明をお読みください。

*4 注：

「SYNC SELECT」を「INT.」(内部同期)に設定しているときは表示しません。「SYNC SELECT」については 22 ページの「SYNC SELECT」の説明をお読みください。

19 電源ランプ

消灯 : 主電源が「切」の状態です。

オレンジ色 : 主電源が「入」で、電源が「切」の状態 (スタンバイ) です。

緑色 : 主電源が「入」で、電源が「入」の状態です。(通常の動作状態です。)

20 電源ボタン

主電源が「入」のときに、ボタンを押して電源を「入」/「切」します。

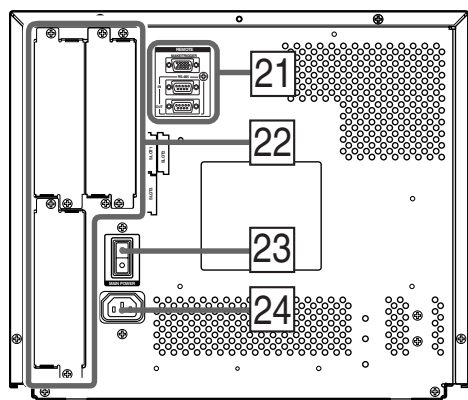
お知らせ:

電源ボタンを押してから実際に電源が供給されるまでの時間を変更できます。

→ 詳しくは 22 ページの「RUSH DELAY TIME」の説明をお読みください。

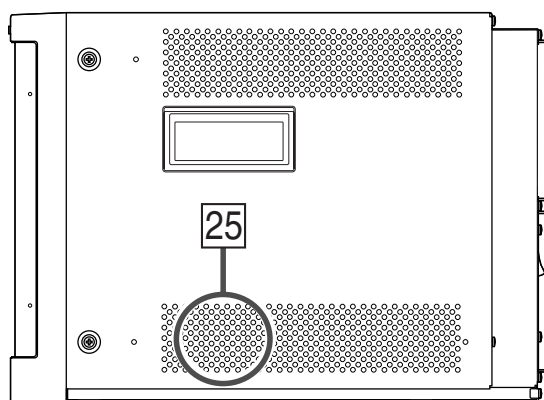
背面・側面

<背面端子>



(背面のイラストはDT-V1710Cです。)

<側面>



(側面のイラストはDT-V1710Cです。)

21 REMOTE (外部制御) 端子

本機を外部から制御するための端子です。

→ 詳しくは 27 ページと 28 ページの「外部制御の使い方」をお読みください。

MAKE/TRIGGER 端子：

端子の中のピンをショート(短絡)/オープン(開放)する、またはこの端子にパルス信号を入力することにより、本機を制御することができます。

RS-485 IN 端子：

RS-485 のシリアル通信により、本機を制御することができます。

RS-485 OUT 端子：

IN 端子の制御をカスケード接続することができます。

22 インพุットカードスロット(SLOT1~SLOT3)

別売のインพุットカードを挿入します。お買い上げ時には、インพุットカードは挿入されていません。

お知らせ：

インพุットカードを挿入していないと映像・音声信号を入力することができません。

23 主電源スイッチ

主電源を「入」「切」します。主電源を「入」にすると、本体前面の電源ランプが「黄色」に点灯しスタンバイ状態になります。

・「I」：入 「O」：切

24 電源入力端子

付属の電源コードを接続します。

・ 付属の POWER CORD HOLDER を取り付けてプラグが抜けないように固定できます。

→ 取り付けかたは 15 ページをお読みください。

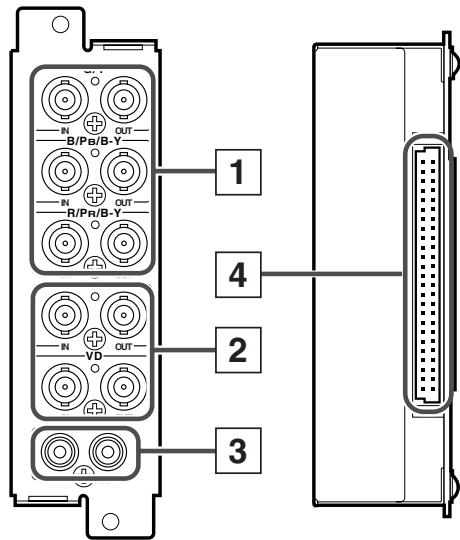
25 スピーカー (モノラル)

Input で選択された音声信号が出力されます。

■各部のなまえと使いかた (つづき)

■インプットカード：別売

■コンポーネント／RGBインプットカード IF-C01COM



■対応する信号フォーマット：

480/60i、576/50i、576/50p、
480/60p、720/60p、720/50p、
1035/60i、1080/60i、1080/24psF

1 コンポーネント／RGB 信号入出力端子

コンポーネント（色差）信号または RGB 信号に対応しています。

コンポーネント信号を選択：INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/
E (SLOT3)

RGB 信号を選択：INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/
F (SLOT3)

• IN と OUT はブリッジ接続（自動終端）です。

2 同期信号入出力端子

水平同期、垂直同期または複合同期信号に対応しています。

→ この端子を使うには「SYNC SELECT」を「EXT」に設定してください。詳しくは 22 ページの「SYNC SELECT」の説明をお読みください。

3 音声信号入出力端子

通常のアナログ音声信号に対応しています。

• IN と OUT はブリッジ接続です。

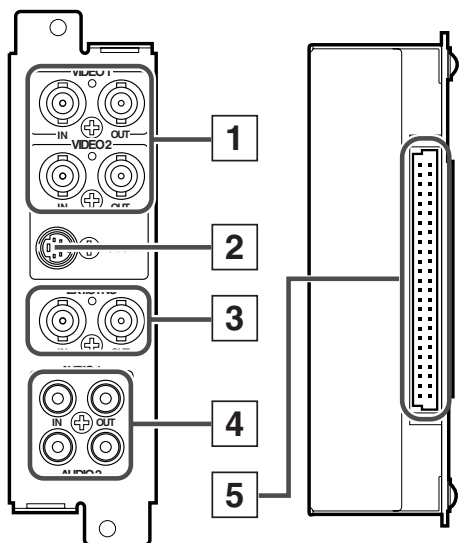
お知らせ

RGB とコンポーネントの同時使用はできません。

4 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

■ビデオインプットカード IF-C01PN



■対応する信号フォーマット：

NTSC、PAL、白黒（50Hz/60Hz）

1 コンポジット信号入出力端子 (VIDEO1, VIDEO2)

NTSC、PAL および白黒（50/60Hz）のコンポジットビデオ信号に対応しています。

→ NTSC と PAL の切り替えは「COLOR SYSTEM」で行います。詳しくは 22 ページの「COLOR SYSTEM」をお読みください。

VIDEO1 選択：INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/E (SLOT3)

VIDEO2 選択：INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/F (SLOT3)

• IN と OUT はブリッジ接続（自動終端）です。

2 S 映像信号入力端子 (VIDEO2 のみ)

VIDEO2 の映像信号として、コンポジット信号の代わりに S 映像信号を入力できます。

→ この端子に入力した場合、VIDEO2 を選んでください。

お知らせ

• VIDEO2 は S 映像入力優先です。

3 同期信号入出力端子 (VIDEO1 と VIDEO2 共用)

複合同期信号に対応しています。

→ この端子を使うには「SYNC SELECT」を「EXT」に設定してください。詳しくは 22 ページの「SYNC SELECT」の説明をお読みください。

お知らせ

• 外部同期信号を選択すると、VIDEO 1、VIDEO2 共に外部同期が優先されます。

• ブラックバーストに対応しています。但し、複合同期信号に映像信号が含まれていると動作しません。

4 音声信号入出力端子 (VIDEO1 と VIDEO2 共用)

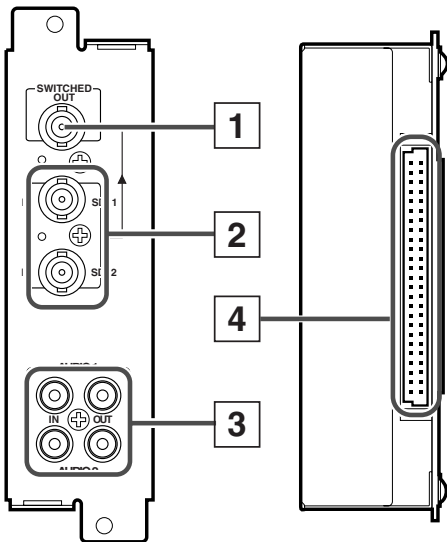
アナログ音声信号に対応しています。

• IN と OUT はブリッジ接続です。

5 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

■ SDI インットカード IF-C01SD



■ 対応する信号フォーマット：
480/60i、576/50i

1 SWITCHED OUT 端子

入力信号をリクロックして出力します。

→ 現在、選択している入力を出力します。

お知らせ

- 他のインットカードの入力に切り替えた場合は、このインットカードの入力の中で最後に選んだ入力の信号を出力します。
- モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは信号を出力できません。

2 D1 SDI 信号入力端子 (SDI1,SDI2)

SMPTE259M 準拠の D1 SDI 信号 (D1 コンポーネントシリアルデジタル信号) に対応します。

SDI1 入力選択 : INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/E (SLOT3)

SDI2 入力選択 : INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/F (SLOT3)

お知らせ

- EMBEDDED AUDIOには対応していません。

3 音声信号入出力端子 (SDI1 と SDI2 共用)

通常のアナログ音声信号に対応します。

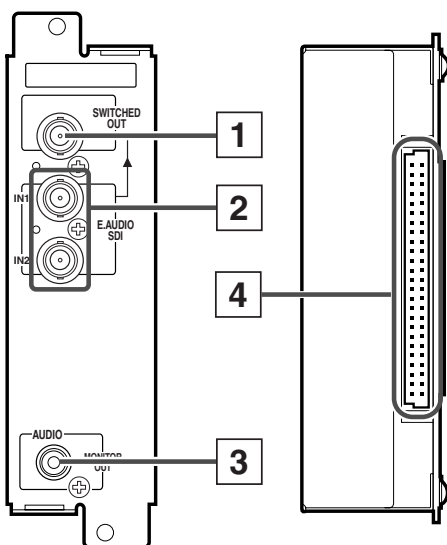
- INとOUTはブリッジ接続です。

4 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

■ SDI インットカード IF-C21SD/IF-C51SD

EMBEDDED AUDIO 対応、AUTO INPUT 対応 (IF-C51SD は AUDIO LEVEL METER 機能付き)



■ 対応する信号フォーマット：
480/60i、576/50i、
EMBEDDED AUDIO

- AUTO INPUT 機能については 22 ページの「AUTO INPUT」をお読みください
- EMBEDDED AUDIO LEVEL METER 機能については 25 ページの「STATUS DISPLAY」をお読みください。(IF-C51SD のみ)

1 SWITCHED OUT 端子

入力信号をリクロックして出力します。

→ 現在、選んでいる入力を出力します。

お知らせ

- 他のインットカードの入力に切り替えた場合は、このインットカードの入力の中で最後に選んだ入力の信号を出力します。
- モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは信号を出力できません。

2 D1 SDI, EMBEDDED AUDIO 信号入力端子

SMPTE259M 準拠の D1 SDI 信号 (D1 コンポーネントシリアルデジタル信号) に対応します。

サンプリング周波数 48 kHz、1 ~ 8 チャンネルの EMBEDDED AUDIO 信号にも対応します。

→ EMBEDDED AUDIO のチャンネル選択はモニター側で行います。詳しくは 6 ページの「音声チャンネル切り替えボタン」をお読みください。

IN1 入力選択 : INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/E (SLOT3)

IN2 入力選択 : INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/F (SLOT3)

3 音声出力端子

EMBEDDED AUDIO 信号をデコードして、アナログ音声信号として出力します。

→ スピーカーでモニターしている音声と同じ入力、同じチャンネルを出力します。

お知らせ

- 他のインットカードの入力をモニターしている場合は、このインットカードの入力の中で最後に選んだ入力の音声信号、そのときの音声チャンネルを出力します。
- モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは出力できません。

4 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

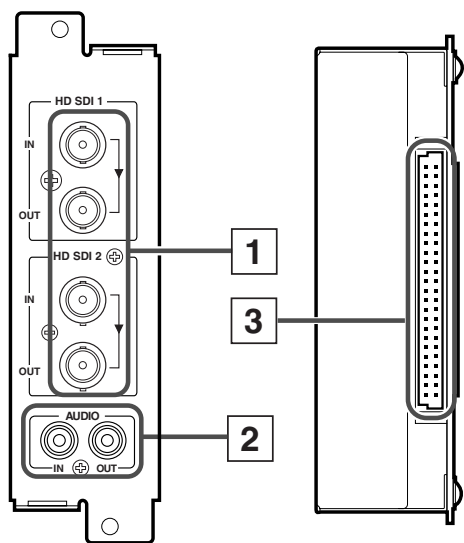
ご注意

接続端子の近くにあるディップスイッチに触れないでください。

■各部のなまえと使いかた (つづき)

■インプットカード：別売

■HD SDI インプットカード IF-C02 HSD



■対応する信号フォーマット：
720/60p、1080/60i、1035/
60i、1080/24psF

1 HD SDI 信号入出力端子 (SDI1、SDI2)

HD SDI 信号 (HD コンポーネントシリアルデジタル信号) に対応しています。

HD SD1 入力選択：INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/E (SLOT3)

HD SD2 入力選択：INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/F (SLOT3)

お知らせ

• EMBEDDED AUDIOには対応していません。

OUT 端子

HD SDI1 の OUT 端子からは HD SDI1 の入力信号を、HD SDI2 の OUT 端子からは HD SDI2 の入力信号をそれぞれリクロックして出力します。

お知らせ

モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは OUT 端子から信号を出力できません。

2 音声信号入出力端子 (HD SDI1 と HD SDI2 共用)

通常のアナログ音声信号に対応しています。

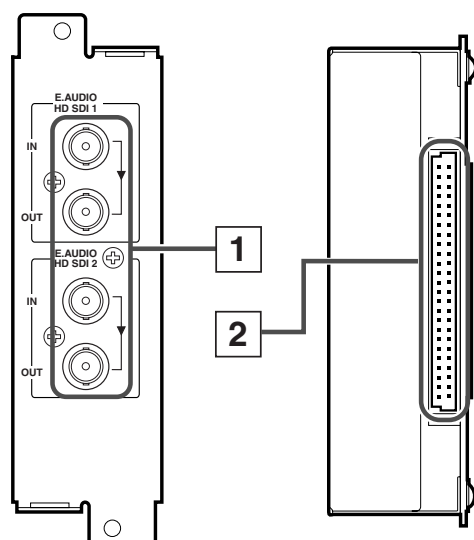
• INとOUTはブリッジ接続です。

3 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

■HD SDI インプットカード IF-C12HSD

EMBEDDED AUDIO 対応



■対応する信号フォーマット：
720/60p、1080/60i、1035/
60i、1080/24psF、EMBED-
DED AUDIO

1 HD SDI 信号入出力端子 (HD SDI1、HD SDI2)

HD SDI 信号 (HD コンポーネントシリアルデジタル信号) に対応します。

サンプリング周波数 48 kHz、1 ~ 8 チャンネルまでの EMBEDDED AUDIO 信号にも対応します。

→ EMBEDDED AUDIO のチャンネル選択はモニター側で行います。詳しくは 6 ページの「音声チャンネル切り替えボタン」をお読みください。

HD SD1 入力選択：INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/E (SLOT3)

HD SD2 入力選択：INPUT SELECT B (SLOT1)/D (SLOT2)/F (SLOT3)

OUT 端子

HD SDI1 の OUT 端子からは HD SDI1 の入力信号を、HD SDI2 の OUT 端子からは HD SDI2 の入力信号をそれぞれリクロックして出力します。

お知らせ

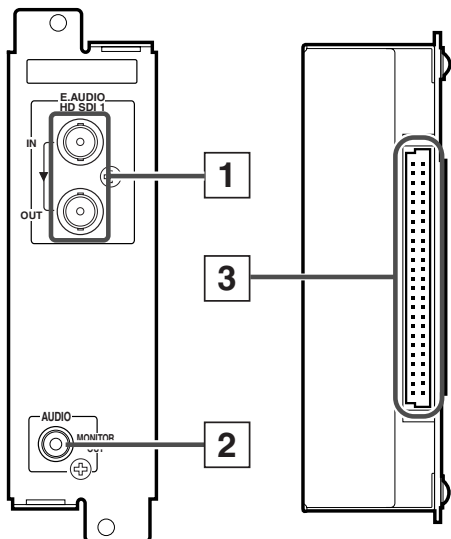
モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは OUT 端子から信号を出力できません。

2 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

■ HD SDI インプットカード IF-C21HSD/IF-C51HSD

EMBEDDED AUDIO 対応、AUTO INPUT 対応 (IF-C51SD は AUDIO LEVEL METER 機能付き)



■対応する信号フォーマット：
720/60p、720/50p、1080/
60i、1035/60i、1080/
24psF、EMBEDDED AUDIO

1 HD SDI 信号入出力端子 (HD SDI 1)

HD SDI 信号 (HD コンポーネントシリアルデジタル信号) に対応します。

サンプリング周波数 48 kHz の 1 チャンネルから 8 チャンネルまでの EMBEDDED AUDIO 信号にも対応します。

→ EMBEDDED AUDIO のチャンネル選択はモニター側で行います。詳しくは 6 ページの「音声チャンネル切り替えボタン」をお読みください。

HD SDI 入力選択 : INPUT SELECT A (SLOT1)/C (SLOT2)/
E (SLOT3)

OUT 端子 : 入力信号をリクロックして出力します。

お知らせ

モニターの電源が OFF またはスタンバイ状態のときは OUT 端子から信号を出力できません。

2 音声出力端子

EMBEDDED AUDIO 信号をデコードして、アナログ音声信号として出力します。

→ スピーカーでモニターしているチャンネルと同じチャンネルを出力します。

3 接続端子

モニターのスロット内にある接続端子に挿入します。

ご注意

接続端子の近くにあるディップスイッチに触れないでください。

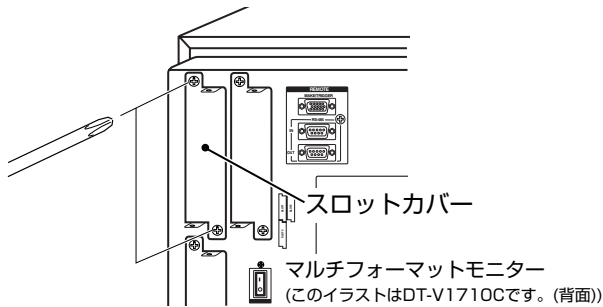
- AUTO INPUT 機能については 22 ページの「AUTO INPUT」をお読みください。
- EMBEDDED AUDIO LEVEL METER 機能については 25 ページの「STATUS DISPLAY」をお読みください。(IF-C51HSD のみ)

準備

■インプットカードの取り付けかた

本機を使用するには別売のインプットカードが必要です。設置や機器の接続を行う前に必ず、インプットカードの取り付けをおこなってください。

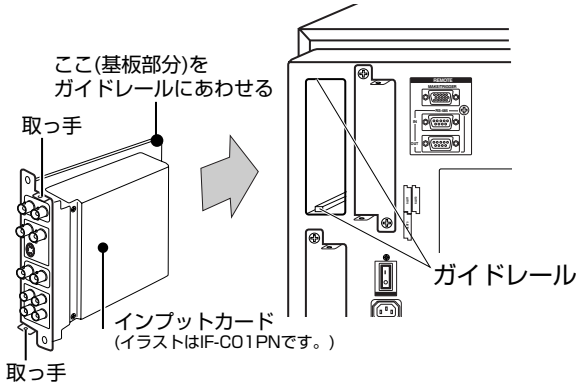
1. 本機の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
2. インプットカードを取り付けたいスロット（本機後面）のカバーを止めているネジを外し、スロットカバーを外す。



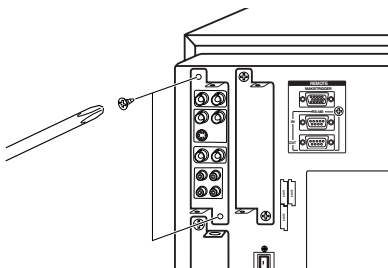
3. インプットカードの基板部分を本機スロット内上下のガイドレールに合わせて差し込む。

ご注意：

IF-C21SD/IF-C51SD/IF-C21HSD/IF-C51HSDのインプットカードを挿入する場合は、挿入する前に38ページの「IF-C21SD/IF-C51SD/IF-C21HSD/IF-C51HSD 挿入時のご注意」を必ずお読みください。



4. インプットカードのパネル部分が本機の背面に接触するまで差し込む。
5. 手順2で外したネジをつかってインプットカードを固定する。



お知らせ：

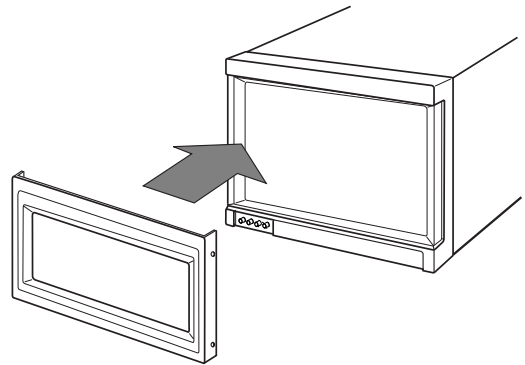
- インプットカードの端子や基板のパターンには手を触れないようにしてください。
- 使用しないスロットはスロットカバーを外さないようにしてください。

■ワイドマスクの取り付けかた

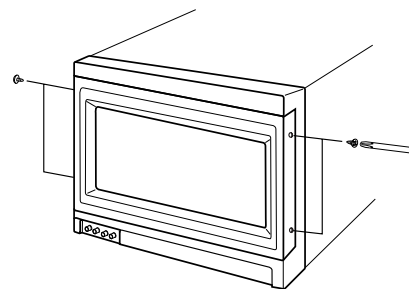
本機には、16:9のアスペクト専用として使用するために、ワイドマスクが付属しています。

- ワイドマスクは、ラック等にマウントすると後から取り付ける事ができません。必要な場合は最初に取り付けてください。

1. 本機に添付のワイドマスクと取り付けネジ（4本）を用意する
2. ワイドマスクを本機に取り付ける



3. 取り付けネジを左右2本ずつ取り付ける



- ワイドマスクを外すときは取り付けと逆の手順で行ってください。

注意：

付属のネジ以外は使用しないでください。

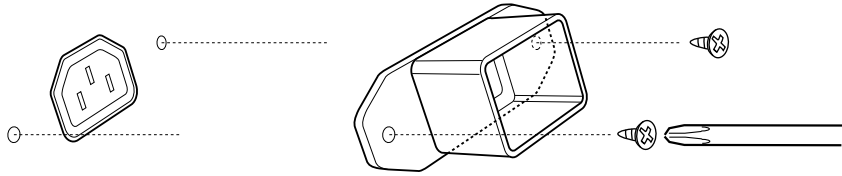
■ POWER CORD HOLDER の取り付けかた

電源コードの抜け防止の為に

- POWER CORD HOLDER が付属しています。
- HOLDER はケースとカバーの2つで構成されています。

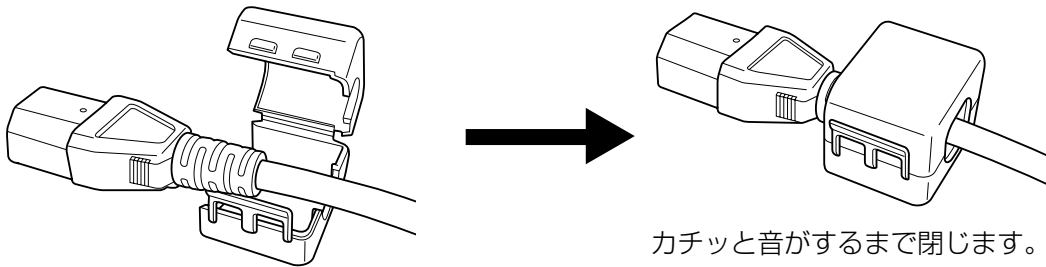
1. 本機に付属の POWER CORD HOLDER のケースと取り付けネジ (2本) を用意する。

2. ケースを本機、背面の電源入力端子に合わせ、取り付けネジ (2本) で取り付けます。



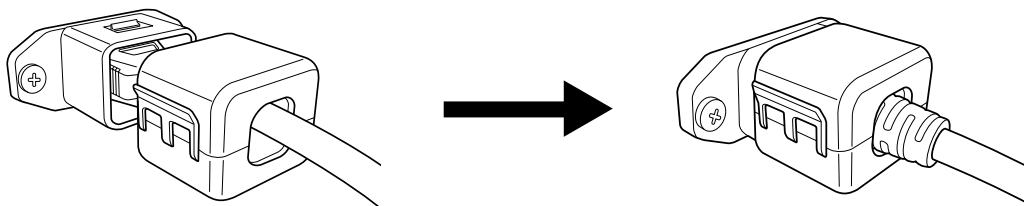
注意：
付属のネジ以外は使用しないでください。

3. カバーを電源コードに取り付けます。



カチッと音がするまで閉じます。

4. 電源コードを電源入力端子に取り付け、カバーをはめます。



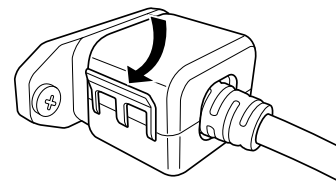
カチッと音がするまではめます。

注意：

- プラグ形状の違いにより、カバーの取り付け位置が異なります。
- カバーの取り付け後、プラグが抜けないかをご確認ください。

メモ：

電源コードを外す時は



ツメを外して開きます。

■メニューの基本操作（「MAIN MENU」・「SETUP MENU」）

■メニューの概要

本機には「MAIN MENU」と「SETUP MENU」があります。

普段使用する際に必要な設定を「MAIN MENU」で、お好みに応じた設定を「SETUP MENU」でおこないます。

「MAIN MENU」

項目	項目(機能)の内容	表示
APERTURE CONTROL	輝度信号の周波数特性を補正できます。	※1
SLOT CONDITION	挿入しているインプットカードの種類を識別し、INPUT AからFまでの状態を表示します。	
sub menu POSITION	sub-menuの表示位置を選択できます。	
AREA MARKER	AREA MARKER機能の中に含まれるMARKER機能、SAFETY MARKER機能、及びZOOM機能のオン/オフや、設定の変更ができます。	※1
COLOR MATRIX	色復調（COLOR MATRIX）の基準を切り替えたり、お好みに合わせて調節したりすることができます。	※1

表示について

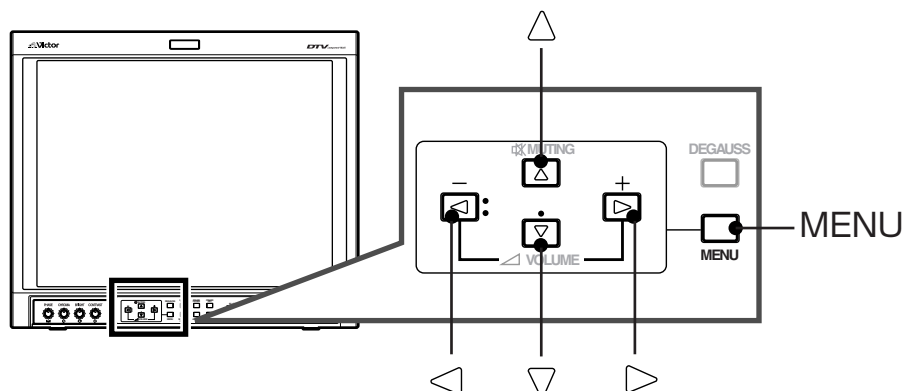
※1：RGB入力時は表示されません。

・信号条件によりメニューの位置が異なります。

「SETUP MENU」

項目	機能
FUNCTION SETTING	カラーシステム、同期信号、電源供給遅延時間（RUSH DELAY TIME）、タリーランプの点灯色、MAKE・TREGGER端子の制御方式を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・モニターの累計使用時間も確認できます。 ・AUTO INPUT機能のオン/オフを設定できます。（AUTO INPUT対応のインプットカード使用時） ・EMBEDDED AUDIOの音声チャンネルグループを選択できます。（EMBEDDED AUDIO対応のインプットカード使用時）
PICTURE SUB ADJ.	映像調整つまみをセンター位置に戻したときの映像調節レベルを微調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・NTSCのセットアップレベルの切り替えや、コンポーネント信号の入力レベル設定の変更もできます。
COLOR TEMP./BAL.	色温度の設定や、ホワイトバランスの調節ができます。
SIZE/POSI.ADJ.	映像のサイズや位置を調節できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ZOOM機能時のサイズも微調節できます。
DISTORTION ADJ.	映像の歪みを補正できます。
STATUS DISPLAY	ステータス表示のオン/オフを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・EMBEDDED AUDIO LEVEL METER対応のインプットカード使用時は、LEVEL METERの表示/非表示やLEVEL METER表示に関する設定ができます。
CONTROL LOCK	電源のオン/オフ以外のモニター操作ができないようにします。メニュー操作もできなくなります。
all reset	「SETUP MENU」の中の全項目を、工場出荷時の設定に戻すことができます。

■メニュー操作に使用するボタン



■メニューを表示するには

「MAIN MENU」を表示するには、MENU ボタンを押します。

「SUB MENU」を表示するには、▽ ボタンを押しながら◀ ボタンを押します。

- メニューから抜けるには、MENU ボタンを繰り返し押します。
- メニューから抜けるには、MENU ボタンを繰り返し押します。

お知らせ

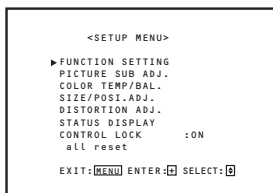
- メニューを表示してから約30秒間何も操作しないと、メニューが自動的に消えます。
- 前のメニューに戻るには、MENU ボタンを押します。

■メニュー操作手順

ここでは例として「BRIGHT」の値を「+10」に調整します。

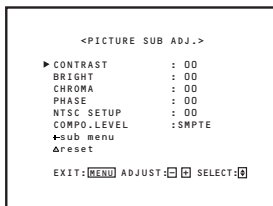
1 ▽ ボタンを押したまま ◀ ボタンを押す。

「SETUP MENU」が画面に表示されます。



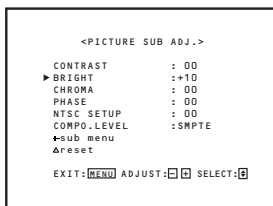
2 ▽ ボタンを押し、「PICTURE SUB ADJ.」を選び、▷ を押す。

「PICTURE SUB ADJ.」メニューが画面に表示されます。



3 ▽ ボタンを押し、「BRIGHT」を選ぶ。

4 ◀/▷ ボタンを押して好みの明るさに調整する。



5 MENU ボタンをくり返し押ししてセットアップメニューを消す。

メニューを操作後、約30秒間何も操作をしないとメニューが消えます。

■「+ sub-menu」について

選択した項目のみを画面に表示（sub-menu 表示）することができます。映像を確認しながら調整や設定をするときに便利です。

お知らせ

- メニューに「+ sub-menu」と表示されているときだけ、この機能が使えます。

ここでは例として「PICTURE SUB ADJ.」の設定項目を sub-menu を用いて設定するようにします。

1 ▽ ボタンを押したまま ◀ ボタンを押す。

「SETUP MENU」が画面に表示されます。

2 ▽ ボタンを押し、「PICTURE SUB ADJ.」を選び、▷ を押す。

3 ▽ ボタンを押し、「+ sub-menu」を選び、▷ を押す。

調整バーが画面の下（または上）に表示されるようになります。

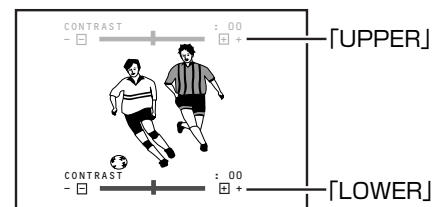
4 △/▽ ボタンをくり返し押しして設定したい項目を選ぶ。

5 ◀/▷ ボタンをくり返し押しして好みの設定値を選ぶ。

- sub-menu 表示を消すには MENU ボタンを押します。sub-menu は通常のメニュー表示に戻ります。

- sub-menu 表示の位置を変更するには

- 1 MENU ボタンを押し、「MAIN MENU」を表示させる。
- 2 ▽ ボタンをくり返し押し、「sub menu POSITION」を選ぶ。
- 3 ◀/▷ ボタンを押して「UPPER」（上部）または「LOWER」（下部）に設定する。



■「reset」について

現在表示しているメニューの項目全ての調節や設定を工場出荷時の状態に戻します。

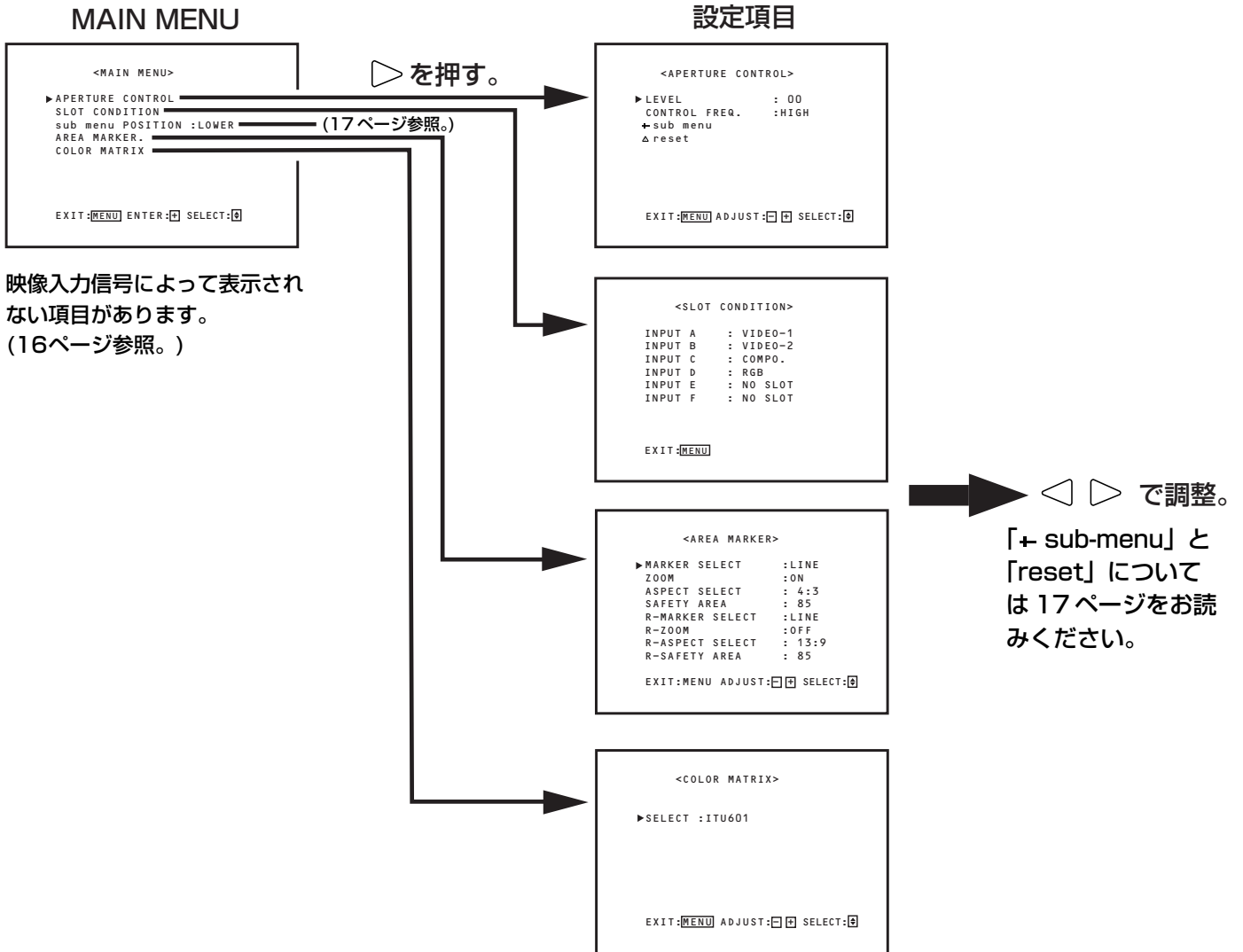
△/▽ ボタンで「reset」を選んで、▷ ボタンを押します。

お知らせ

- メニューに「reset」と表示されているときだけ、この機能が使えます。

「MAIN MENU」の使いかた

「MAIN MENU」一覧



映像入力信号によって表示されない項目があります。
(16ページ参照。)

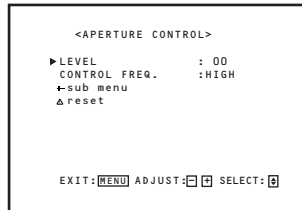
前のメニューに戻るには
MENU ボタンを押します。

■各項目の機能・内容と調整・設定範囲

APERTURE CONTROL

輝度信号の周波数特性を補正できます。

- ▶ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。



■ LEVEL

補正を調節します。数値が大きいほど、補正量が大きくなります。

- 00 ~ +10

■ CONTROL FREQ.

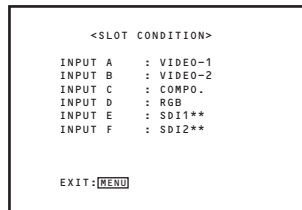
補正する周波数を選択します。

- APERTURE CONTROL 機能をキャンセルするには OFF を選びます。
HIGH : 高域の周波数成分を補正します。
LOW : 低域の周波数成分を補正します。
OFF : APERTURE CONTROL 機能をキャンセルします。

SLOT CONDITION

挿入している入力カードの種類を識別し、INPUT A から F までの状態を表示します。

- ▶ ボタンを押すと右記の表示メニューに切り替わります。



INPUT A/B : SLOT 1 の状態
INPUT C/D : SLOT 2 の状態
INPUT E/F : SLOT 3 の状態

VIDEO-1/VIDEO-2

: ビデオ入力カード挿入時

COMPO. /RGB

: コンポーネント / RGB カード挿入時

SDI 1/SDI 2

: SDI 入力カード挿入時

HD SDI1/HD SDI 2

: HD SDI 入力カード挿入時

お知らせ

- ENBEDDED AUDIO 対応入力カード挿入時は、名称の後ろにアスタリスク (*) を表示します。(例: HD SDI*)
- ENBEDDED AUDIO 対応、AUDIO LEVEL METER 機能付き入力カードは、名称の後ろにアスタリスクを2つ (**) 表示します。(例: HD SDI**)
- 「---」は、その SLOT に入力カードが挿入されていないか、その入力を持っていない入力 1 系統の入力カードであることを示しています。

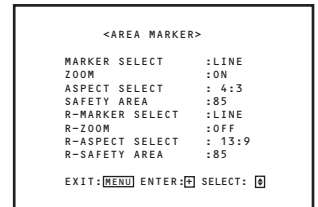
sub menu POSITION

sub-menu の表示位置を選択できます。

- ▶ 詳しくは 17 ページの「sub-menu 表示の位置を変更するには」をお読みください。

AREA MARKER :

AREA MARKER 機能の中に含まれる MARKER 機能、SAFETY MARKER 機能、及び ZOOM 機能のオン/オフや、設定の変更ができます。



- ▶ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。

お知らせ

- 4 : 3 映像時は「SAFETY MARKER」と「R-SAFETY MARKER」以外は表示されません。
- 外部制御していない状態で、モニター前面にある AREA MARKER ボタンを押したときは、「R -」のついていない項目の設定が有効になります。
- 外部制御している状態で、外部から AREA MARKER 機能をオンしたときは、「R -」のついていない項目の設定が有効になります。
- AREA MARKER 機能の外部制御には MAKE/TRIGGR 端子を使います。詳しくは 27 ページの「MAKE/TRIGGR 端子の使い方」をお読みください。

■ MARKER SELECT/R-MARKER SELECT

「ASPECT SELECT/R-ASPECT SELECT」で設定したアスペクト比の画面範囲を現在の映像上に表示します。

OFF : MARKER 機能は働きません。

LINE : 範囲を線で表示します。

HALF : 範囲外をハーフトーンで表示します。

HALF+L : 範囲を線で示し、範囲外をハーフトーンで表示します。

BLK : 範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示します。

BLK. +L : 範囲を線で示し、範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示します。

「MAIN MENU」の使いかた (つづき)

■ ZOOM/R-ZOOM

ZOOM 機能により、映像の中心部を拡大します。

OFF : ZOOM 機能は働きません。

ON : ZOOM 機能が働きます。

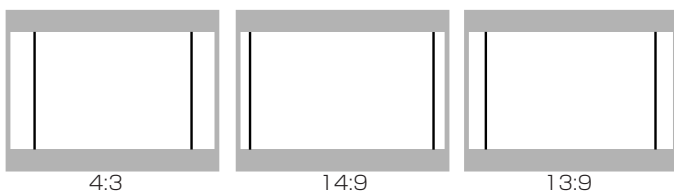
お知らせ

- アンダースキャン機能が働いている場合は動作しません。
- ZOOM 時の映像サイズを調節できます。詳しくは 24 ページの「ZOOM V.SIZE」と「ZOOM H.SIZE」の説明をお読みください。

■ ASPECT SELECT/R-ASPECT SELECT

画面のアスペクト比を選びます。

- 4:3/13:9/14:9



■ SAFETY AREA/R-SAFETY AREA

「ASPECT SELECT/R-ASPECT SELECT」で設定したアスペクト比の画面の 90%、88%、または 80% の範囲を SAFETY AREA として現在の映像上に点線で表示します。

お知らせ

- 4:3 映像の時は 4:3 画面に対しての SAFETY AREA を表示します。
- 16:9 映像の時に 16:9 画面に対しての SAFETY AREA を表示したい場合は、「MARKER SELECT/R-MARKER SELECT」を「OFF」に設定してください。

OFF : SAFETY AREA 機能は働きません。

90% : 90% の範囲

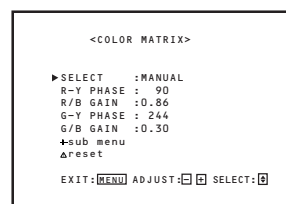
88% : 88% の範囲

80% : 80% の範囲

COLOR MATRIX

色復調 (COLOR MATRIX) の基準を切り換えたり、お好みに合わせて調節したりすることができます。

- ▶ ボタンを押すと選択・調整メニューに切り換わります。



MANUAL を選択したときの画面

- 標準の設定は入力された信号フォーマットに応じて、自動的に ITU-601 または ITU-709 に設定されます。また、MANUAL の工場出荷時の設定は ITU709 になっています。

入力信号フォーマット	標準	MANUAL
NTSC, PAL, 480/60i 480/60p, 576/50i, 575/50p	ITU601	ITU709
720/60p, 1080/60i, 1035/60i, 1080/24psF	ITU709	

■ SELECT :

カラーマトリックスの基準を選択します。

- ITU601 または ITU709/MANUAL

ITU601/ITU709 : 標準設定

MANUAL : ユーザー設定

お知らせ :

MANUAL を選択すると以下のユーザー設定項目が表示されます。標準 (ITU601/ITU709) を選んだときは表示されません。

■ R-Y PHASE :

R-Y 位相を設定します。

- 90/92/94/112

■ R/B GAIN:

R/B 利得の設定をします。

- 0.86/0.56/0.68/0.79

■ G-Y PHASE:

G-Y 位相の設定をします。

- 244/253/236/240

■ G/B GAIN :

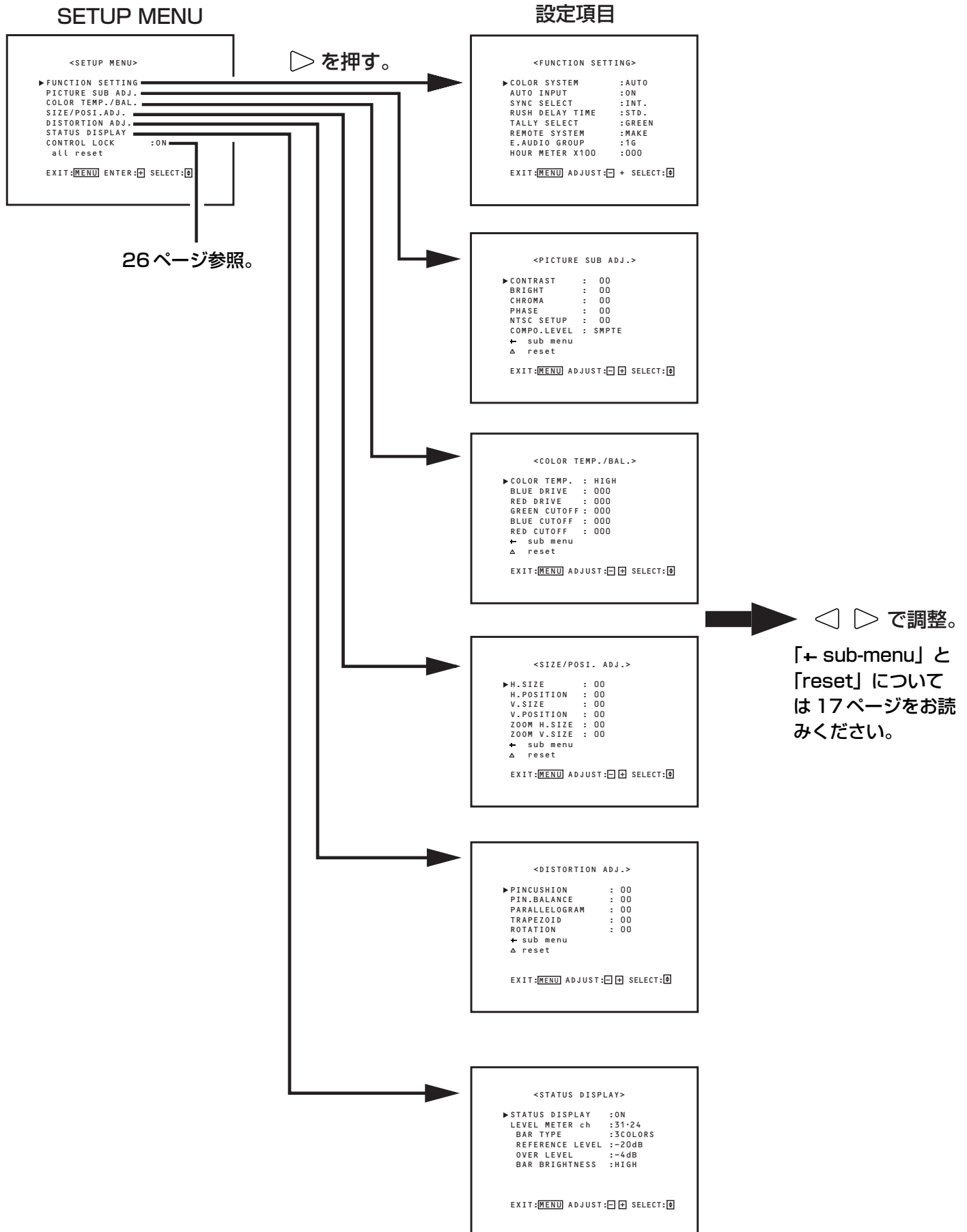
G/B 利得の設定をします

- 0.30/0.34/0.40/0.45

ITU601	R-Y PHASE	90
	R/B GAIN	0.79
	G-Y PHASE	244
	G/B GAIN	0.45
ITU709	R-Y PHASE	90
	R/B GAIN	0.86
	G-Y PHASE	244
	G/B GAIN	0.30

「SETUP MENU」の使いかた

「SETUP MENU」一覧



前のメニューに戻るには
MENU ボタンを押します。

「SETUP MENU」の使いかた (つづき)

■ 各項目の機能・内容と調整・設定範囲

FUNCTION SETTING

カラーシステム、同期信号、電源供給遅延時間 (RUSH DELAY TIME)、タリーランプの点灯色、MAKE・TREGGER 端子の制御方式を選択できます。

<FUNCTION SETTING>	
▶ COLOR SYSTEM	: AUTO
AUTO INPUT	: ON
SYNC SELECT	: INT.
RUSH DELAY TIME	: STD.
TALLY SELECT	: GREEN
REMOTE SYSTEM	: MAKE
E-AUDIO GROUP	: 16
HOURLY METER X100h	: 000
EXIT: [MENU]	ADJUST: [] SELECT: []

- モニターの累計使用時間も確認できます。
- AUTO INPUT 機能のオン/オフを設定できます。(AUTO INPUT 対応のインプットカード使用時)
- EMBEDDED AUDIO の音声チャンネルグループを選択できます。(EMBEDDED AUDIO 対応のインプットカード使用時)
- ▷ ボタンを押すと上記の設定メニューに切り替わりません。

■ COLOR SYSTEM :

ビデオインプットカード使用時のカラーシステムを設定します。

- AUTO** : NTSC と PAL を自動切替します。
- NTSC** : NTSC に固定します。
- PAL** : PAL に固定します。

お知らせ :

通常は AUTO の設定で使用しますが、不安定な信号の場合は、NTSC か PAL に固定して使用してください。

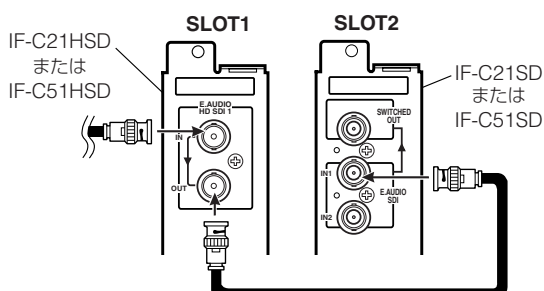
■ AUTO INPUT :

一つの信号ケーブルで HD SDI 信号と SD SDI 信号を必要に応じて切り替えて入力する場合、信号を判別して、自動的に入力を INPUT A (HD SDI インプットカード) または INPUT C (SDI インプットカード) に切り替えます。

- ON** : AUTO INPUT 機能が働きます。
- OFF** : AUTO INPUT 機能は働きません。

AUTO INPUT 機能を使うための準備 (下図参照)

1. SLOT1 に AUTO INPUT 機能対応の HD SDI インプットカード、SLOT2 に AUTO INPUT 機能対応の SDI インプットカードを挿入し、信号ケーブルを接続します。
2. HD SD1 インプットカードに HD SDI 信号または D1 SDI 信号を入力します。



お知らせ

- AUTO INPUT 機能対応の HD SDI インプットカード / SD インプットカードに対してだけ、この機能を使うことができます。
- INPUT A と INPUT C に別々の信号ケーブルを接続して、各々に信号を入力した場合、「INPUT SELECT ERROR」というメッセージが約 3 秒間表示されます。

■ SYNC SELECT:

同期信号を選択します。

- INT.** : 映像入力信号に含まれる同期信号で同期をかけるようにします。
- EXT.** : 外部同期信号端子に入力された外部の同期信号で同期をかけます。

■ RUSH DELAY TIME :

電源スイッチを押してから電源が供給されるまでの遅延時間を設定できます。

- STD.** : 約 1 秒後に電源供給されます。
- SLOW** : 約 3.2 秒後に電源供給されます。

お知らせ :

複数台のモニターを同時に電源を入れるときに一部のモニターを SLOW の設定にすると、突入電流を抑えることができます。

■ TALLY SELECT:

フロントパネル上部にあるタリーランプの点灯色を選択します。

- GREEN** : 緑色にします。
- RED** : 赤色にします。

お知らせ :

タリー制御の設定は REMOTE(外部制御) 端子の MAKE/TRIGGER 端子を使っておこないます。
→ 詳しくは 27 ページをお読みください。

■ REMOTE SYSTEM:

MAKE/TRIGGER 端子の設定をします。MAKE/TRIGGER 端子の使い方については 27 ページをお読みください。

- **MAKE (接点方式) / TRIGGER (パルス入力方式)**

■ E.AUDIO GROUP:

EMBEDDED AUDIO 対応のインプットカード使用時に表示されます。

EMBEDDED AUDIO の音声チャンネルグループを選択します。

1G : 1ch ↔ 2ch ↔ 3ch ↔ 4ch ↔ 1-2ch ↔ 3-4ch ↔ 1-4ch
↑ ↓

2G : 5ch ↔ 6ch ↔ 7ch ↔ 8ch ↔ 5-6ch ↔ 7-8ch ↔ 5-8ch
↑ ↓

1-2G : 1ch ↔ 2ch ↔ 3ch ↔ 4ch ↔ 5ch ↔ 6ch ↔ 7ch ↔ 8ch ↔ 1-2ch
↑ ↓
↓ AUTO ↔ 5-8ch ↔ 1-4ch ↔ 7-8ch ↔ 5-6ch ↔ 3-4ch

お知らせ :

- AUTO 設定は 8ch 全ての信号をミックスして出力します。信号が送られている ch 数を自動判別して、出力レベルを自動的に設定します。

* 音声出力レベルについて

複数の音声 CH を同時に出力する場合、音声出力レベルは CH トータルで標準出力レベルになるよう設定されています。したがって、選択した CH 数が増えると各 CH のレベルは小さくなります。(1-2 ch の場合は各 CH のレベルは約 1/2、1-4 ch の場合は約 1/4 になります。)

■ HOUR METER X100h:

本機の累計の使用時間を表示します。表示される値は 100 時間単位です。

- 000 ~ 655

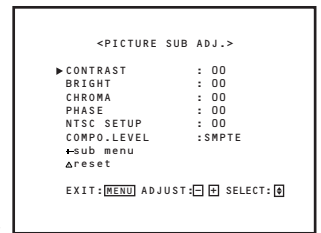
お知らせ :

- 655 を越えると 000 に戻ります。
- 1 時間未満の使用時間は累計されません。

PICTURE SUB ADJ.

映像調整つまみをセンサークリック位置にしたときの映像調節レベルを微調節できます。

- NTSC のセットアップレベルの切り替えや、コンポーネント信号の入力レベル設定の変更もできます。
- ▷ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。



お知らせ :

- RGB 入力時は CONTRAST、BRIGHT のみ表示されます。PAL 入力時は CONTRAST、BRIGHT、CHROMA のみ表示されます。

■ CONTRAST :

- - 20 ~ 00 ~ +20

■ BRIGHT :

- - 20 ~ 00 ~ +20

■ CHROMA :

- - 20 ~ 00 ~ +20

■ PHASE:

- - 20 ~ 00 ~ +20

■ NTSC SETUP

NTSC 入力時のセットアップレベル設定をします。

- 00 : セットアップ 0% の信号に対応します。
- 7.5 : セットアップ 7.5% の信号に対応します。

お知らせ :

- NTSC 信号入力時のみ表示されます。

■ COMPO. LEVEL

コンポーネント入力時のセットアップレベル設定をします。

- SMPTE : M2VTR からの信号に対応します。
- B 75 : BetacamVTR のセットアップ 7.5% の信号に対応します。
- B 00 : BetacamVTR のセットアップ 0% の信号に対応します。

お知らせ :

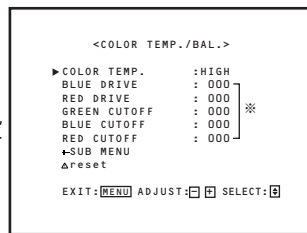
480/60i、480/60p、576/50i、576/50p の信号入力時のみ表示されます。

「SETUP MENU」の使いかた (つづき)

COLOR TEMP./BAL.

色温度の設定や、ホワイトバランスの調節ができます。

- ▷ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。



お知らせ :

- モニター間のホワイトバランスを微調節するときは※印の5項目を使用して合わせてください。

■ COLOR TEMP.

色温度を選択します。

- HIGH : 9300 に設定します。
- LOW : 6500 に設定します。

■ BLUE DRIVE:

Blueのドライブレベルを調節します。

- MIN ~ 000 ~ MAX (127段階)

■ RED DRIVE:

Redのドライブレベルを調節します。

- MIN ~ 000 ~ MAX (127段階)

■ GREEN CUTOFF:

Greenのカットオフ点を調節します。

- MIN ~ 000 ~ MAX (205段階)

■ BLUE CUTOFF:

Blueのカットオフ点を調節します。

- MIN ~ 000 ~ MAX (205段階)

■ RED CUTOFF:

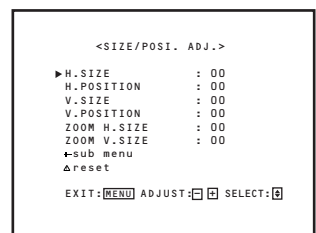
Redのカットオフ点を調節します。

- MIN ~ 000 ~ MAX (205段階)

SIZE/POSI.ADJ.

映像のサイズや位置を調節できます。

- ZOOM機能時のサイズも微調節できます。
- ▷ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。



■ H.SIZE :

水平方向の映像サイズを調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 映像サイズが小さくなる
+ : 映像サイズが大きくなる

お知らせ :

- UNDER SCAN 時の調節範囲は 00 ~ + 20 に制限されます。

■ H.POSITION :

水平方向の映像位置を調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 左に移動
+ : 右に移動

■ V.SIZE :

垂直方向の映像サイズを調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 画像サイズが小さくなる
+ : 画像サイズが大きくなる

■ V.POSITION :

垂直方向の映像位置を調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 下に移動
+ : 上に移動

■ ZOOM V. SIZE

- - 20 ~ +20

■ ZOOM H. SIZE

- - 20 ~ 00

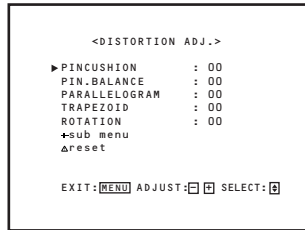
ZOOM V.SIZE と ZOOM H.SIZE は ZOOM 機能が動作しているときだけ表示します。

ZOOM 時の映像は、垂直方向のサイズを ZOOM V.SIZE、水平方向のサイズを ZOOM H.SIZE で調節します。

DISTORTION ADJ.

映像の歪みを補正できます。

- ▶ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。



■ PINCUSHION :

糸巻き歪みの補正レベルを調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 画像の両側がふくらむ
+ : 画像の両側がへこむ

■ PIN.BALANCE :

糸巻き歪みの補正のバランスを調節します。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 画像の右がへこみ、左がふくらむ
+ : 画像の左がへこみ、右がふくらむ

■ PARALLELOGRAM :

平行四辺形歪みの補正をします。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 画像の上が右に、下が左に動く
+ : 画像の上が左に、下が右に動く

■ TRAPEZOID :

台形歪みの補正をします。

- - 20 ~ 00 ~ +20
- : 画像の上が伸びる
+ : 画像の上が縮む

■ ROTATION :

画面の傾きを補正します。

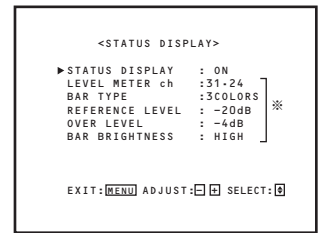
- - 31 ~ 00 ~ +31
- : 画面が時計回りに回転します。
+ : 画面が反時計回りに回転します。

STATUS DISPLAY

ステータス表示のオン/オフを設定できます。

- EMBEDDED AUDIO
LEVEL METER 対応のインプットカード使用時は、LEVEL METER の表示 / 非表示や LEVEL METER 表示に関する設定ができます。

- ▶ ボタンを押すと右記の設定メニューに切り替わります。
※ AUDIO LEVEL METER 対応のインプットカード装着時のみ表示します。



■ STATUS DISPLAY :

ステータス表示の表示 / 非表示を設定します。

- ON : 表示をする
OFF : 表示をしない

■ LEVEL METER ch

AUDIO LEVEL METER で表示する音声チャンネルの組み合わせを選びます。

- OFF / 1 : 2 / 12 : 34 / 31 : 24 / 123 : 456 / 1-8

お知らせ

- 数字は音声チャンネルを示します。「:」の左側のチャンネルの入力レベルは画面の左側に、「:」の右側のチャンネルの入力レベルを画面の右側に表示します。
- 「OFF」に設定すると AUDIO LEVEL METER を表示しません。
- 「1-8」を選んだ場合は、1,2,3,4 のチャンネルの入力レベルを画面の左側に、5,6,7,8 のチャンネルの入力レベルを画面の左側に表示します。

■ BAR TYPE

レベルメーターの色を設定します。

- WHITE-1 : 白色で表示します。
- WHITE-2 : 白色 (ハーフトーン) で表示します。
- 3 COLORS : 入力レベルに応じて、色分けして表示します。
赤色 : 「OVER LEVEL」で設定した入力レベルを超えた場合
黄色 : 「REFERENCE LEVEL」で設定した入力レベルを超えた場合
緑色 : 「REFERENCE LEVEL」で設定した入力レベルに満たない場合

お知らせ

- WHITE-1 / WHITE-2 の場合、「REFERENCE LEVEL」で設定した標準入力レベルを線で示します。「OVER LEVEL」で設定した入力レベルは表示しません。
- 信号入力が無い音声チャンネルのバー表示は、3 COLORS 設定時は白、そのほかの場合は灰色になります。

「SETUP MENU」の使いかた (つづき)

■ REFERENCE LEVEL

標準入力レベルを設定します。

- -20dB / -18dB

■ OVER LEVEL

「3 COLORS」表示のときに、赤色で表示する入力レベルの下限を設定します。

- -8dB / -6dB / -4dB / -2dB

■ BAR BRIGHTNESS

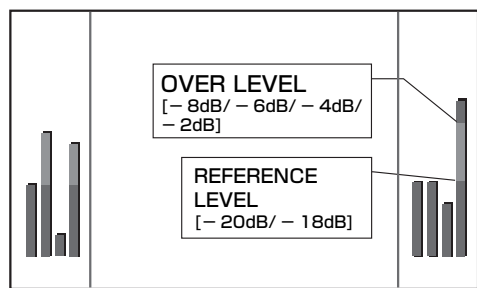
AUDIO LEVEL METER 表示の明るさを選びます。

HIGH : 明るく表示します。

LOW : 暗く表示します。

LEVEL METER の表示例

LEVEL METER ch:1-8, BAR TYPE:3 COLORS



レベル表示位置とチャンネルの関係

CONTROL LOCK

■ CONTROL LOCK :

電源のオン/オフ以外のモニター操作ができないようにします。

メニュー操作もできなくなります。

ON : CONTROL LOCK 機能が働きます。

OFF : CONTROL LOCK 機能を解除します。

お知らせ

- CONTROL LOCK 機能が働いている場合、何かの機能を操作すると、画面に「Control lock on!」と表示します。
- CONTROL LOCK 機能が働いている場合でも、「SETUP MENU」を表示してこの機能を OFF (解除) に切り換える操作はできます。

all reset

SETUP MENUの全ての項目の設定を工場出荷時の状態に戻します。

1. Δ / ∇ ボタンで「all reset」を選んで、 \triangleright ボタンを押します。
確認のメッセージが表示されます。
2. リセットする場合は \triangleright を押します。
リセットしたくない場合は MENU ボタンを押します。

■外部制御の使いかた

■外部制御の概要

本機には2種類の外部制御端子があります。

一つは、機能の設定にてメイク接点方式とトリガー方式を選択して制御をおこなう MAKE/TRIGGER 端子です。

MAKE (メイク接点方式): 制御するピン端子を短絡 (GND とショート) または、開放 (端子オープン) することで機能を制御します。

TRIG. (トリガー方式) : 制御する端子を瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。

※ MAKE/TRIGGER の選定はセットアップメニューの REMOTE SYSTEM でおこないます。

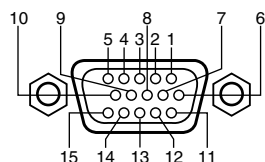
もう一つは RS-485 端子で、シリアル通信による制御をおこないます。

お知らせ：外部制御を使用中の操作には次のような優先順位があります。

①MAKE/TRIG. 端子 > ②RS-485 端子 > ③本機の前面ボタン

ただしトリガー方式の場合は、本機前面ボタンでの操作が可能です。

■MAKE / TRIGGER 端子の使いかた



No.	制御する機能	開放	短絡	注1
1	TALLYランプ点灯	消灯	点灯	注2
2	INPUT Aへ切り替え	無効	有効	
3	INPUT Bへ切り替え	無効	有効	
4	INPUT Cへ切り替え	無効	有効	
5	INPUT Dへ切り替え	無効	有効	
6	INPUT Eへ切り替え	無効	有効	
7	INPUT Fへ切り替え	無効	有効	
8	COLOR OFF	切	入	
9	AREA MARKER	切	入	
10	ASPECT	切	入	
11	TALLY SELLECT	GREEN	RED	
12	AREA MARKERの設定	「R-」の無い機能の設定	「R-」付きの機能の設定	注3
13	STATUS DISPLAY	ON	OFF	
14	外部制御	無効	有効	注2
15	GND			

注1：TRIGGER (トリガー方式) の場合は、約1秒間短絡して開放する操作により設定が交互に切り替わります。

注2：TRIGGER (トリガー) 方式で制御している場合でも、TALLY制御 (1番ピン) と外部制御 (14番ピン) だけは、MAKE (接点) 方式で制御してください。

注3：AREA MARKERメニューの中の「R-」付きの機能の設定と「R-」の無い機能の設定のどちらを使うかを選択します。詳しくは19ページの「AREA MARKER」の説明をお読みください。

操作方法

- 外部制御 (14番ピン) を15番ピンに短絡して外部制御を有効にします。
- MAKE(接点方式)の場合、各機能のピンを15番ピンに短絡または開放して制御します。
 - TRIGGER(トリガー)方式の場合は、各機能のピンを約1秒間15番ピンに短絡して開放する操作 (パルス制御) で制御します。

お知らせ

- 2番ピンから7番ピンはどれか一つだけを短絡し、他は開放していないと動作しません。
- TRIGGER(トリガー)方式では、複数の端子を一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

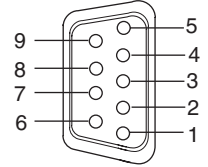
■ 外部制御の使いかた (つづき)

■ RS-485 の使いかた

ここではモニターを専用コントローラーまたはパソコンから、RS-485を使って制御する概要を説明します。実際に制御される場合は、サービス窓口にお問い合わせください。

1. ケーブル

D-sub 9ピンオス-D-sub 9ピンオスのストレートケーブルをご用意ください。



2. 通信仕様

ボーレート : 4800/9600/19200 (出荷時は4800)
データ長 : 8ビット
パリティ : なし
ストップビット : 1ビット
通信コード : ASCIIコード

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	5V電源 (専用コントローラー用)	NC
2	TD+	TD+
3	RD+	RD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	NC	NC
7	TD-	TD-
8	RD-	RD-
9	NC	NC

3. コマンド構成

フォーマット

ヘッダー	ID	コマンドID	コマンド内容	データ	CR
------	----	--------	--------	-----	----

ヘッダー

- ! パソコンからモニターへの制御
- ? パソコンからモニターへの問い合わせ
- @ モニターからパソコンへの回答

* 1ピンの5V電源は専用コントローラー用電源です。他の機器には使用しないでください。

I D+コマンド+データ

B 基本コマンド	文字列	00、01 または「なし」
D サイズ調整コマンド	00~08	U.D (U : UP、D : DOWN)
S 映像調整コマンド	00~05	U.D (U : UP、D : DOWN)
M メニュー選択コマンド	00~0E	00、01、02、03
F メニュー選択コマンド	00~10	00、01、02、03、04、05
W ホワイトバランス調整コマンド	00~05	U.D (U : UP、D : DOWN)
C 状態問い合わせコマンド	00	0~655

通信手順

以下の手順で通信が行われます。

1. 通信開始 PCから接続コマンド受信(!XXBCN1Cr)→本機からステータス送信(@XXBOKCr)
2. 制御の実施 PCから制御コマンド受信(!XXXXCr)→本機からステータス送信(@XXBOKCr)
* 必要に応じて制御コマンドとステータスの送受信を繰り返す
3. 通信終了 PCから切断コマンド受信(!XXBCNOCr)→本機からステータス送信(@XXBOKCr)

* ハンドシェイク方式なので、パソコンはコマンド送信後、本機からのステータスを受信してから次のコマンドを送ってください。

* パソコンから、RS-485を使って制御するときは、RS-232C←→RS-485の変換アダプターが別途必要となります。

故障かなと思う前に(トラブルシューティング)

修理をご依頼される前に、つぎの点をお調べください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

症状	原因	対処	参照ページ
電源が入らない	電源の差し込みプラグがゆるんだり、はずれたりしていませんか？	プラグを確実に差し込んでください。	—
	主電源スイッチを入れましたか？	主電源スイッチを入れてください。	8
電源が入っているのに映像がない	信号ケーブルがはずれていませんか？	信号ケーブルを確実に接続してください。	10~13
	接続機器の電源は入っていますか？ 接続機器から信号が出ていますか？	接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	—
	入力の切り換えは正しいですか？	INPUT SELECTボタンで正しい入力に切り換えてください。	8
	入力信号は本機の仕様に適合していますか？	本機に取り付けられたインプットカードによって、対応するフォーマットが異なります。ご確認ください。	10~13
	自己診断ランプが点滅していませんか？	自己診断表示にしたがって確認してください。	31
音が出ない	信号ケーブルがはずれていませんか？	信号ケーブルを確実に接続してください。	10~13
	接続機器から信号が出ていますか？	接続機器を正しく設定してください。	—
	音量が最小になっていませんか？	VOLUME(音量)ボタンで音量を調整してください。	6
色がおかしい	画像調整が変わっていませんか？	画像調整の各つまみを標準(センター)にしてください。また、メニュー画面<SETUP MENU>の「PICTURE SUB ADJ.」の項目の各画像調整を標準(00)に(「reset(リセット)」を実行)してください。	6、23
	ホワイトバランスの設定が変わっていませんか？	メニュー画面<SETUP MENU>の「COLOR TEMP./BAL.」の各項目の設定を標準「000」に(「reset(リセット)」を実行)してください。	24
	コンポーネント/RGBインプットカードの端子に接続した信号ケーブルのいずれかがはずれていませんか？	それぞれの信号ケーブルを確実に接続してください。	10
	コンポーネント/RGBインプットカードに入力している信号と入力の選択は正しいですか？	コンポーネント信号のときはINPUT A/C/Eを、RGB信号のときはINPUT B/D/Fを選んでください。	10
画像が不鮮明	画像調整(「CONTRAST」や「BRIGHT」)が変わっていませんか？	画像調整の[CONTRAST]や[BRIGHT]のつまみを調整してください。また、<SETUP MENU>の「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「CONTRAST」や「BRIGHT」を調整してください。	23
画像が揺れる	近くにモーター、変圧器などの強い磁界を発生するものはありませんか？(扇風機・蛍光灯・レーザープリンター・別のモニターなど)	本機を画像が揺れなくなるまで、離してください。離れたところの違う回線の電源につないでください。	—

故障かなと思う前に(トラブルシューティング)(つづき)

症状	原因	対処	参照ページ
画像に色むらがある	近くにスピーカーや、磁石など磁気を発生するものがあつたり、近づけたりしませんでしたか？ 電源を入れたまま本機の向きを変えませんでしたか？	本機から磁気などを発生するものを離してください。 本体前面のDEGAUSS ボタンを押して画面を消磁してください。再度消磁するときは、最大の効果を得るために30分以上間隔をあけて行ってください。	7
画像の位置がずれている、 画像のサイズが合っていない	画像の位置・サイズ・歪みなどの調整が変わっていませんか？	< SETUP MENU >の「SIZE/POSI.ADJ.」の項目で画像のサイズ(H. SIZE, V. SIZE)・位置(H. POSITION, V. POSITION)を調整してください。 「DISTORTION ADJ.」の項目で画像の歪み(PINCUSHION、PIN.BALANCE、TRAPEZOID、PARALLELOGRAM)を調整してください。 信号によっては、画像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。 この場合は、確実な対応のしかたがありません。予めご了承ください。	24、25
	UNDER SCAN (アンダースキャン) や ASPECT (アスペクト比) ボタンが押されていないですか？	UNDER SCAN や ASPECT ランプが点灯しているときは、それぞれのボタンを押して設定を解除してください。	7
前面操作部のボタンやつまみが働かない	コントロールロック (CONTROL LOCK) 機能を「ON」に設定していませんか？	コントロールロック機能を「OFF」に設定してください。	26
	REMOTE 端子(外部制御端子)に接続された機器から制御するようになっていませんか？	外部制御機器の設定を本機でできるようにしてください。	27、28

このようなときは故障ではありません

- 画面上に、細い2本の線が見えますが、これはブラウン管の構造上必要な「ダンパー線」の影です。故障ではありません。



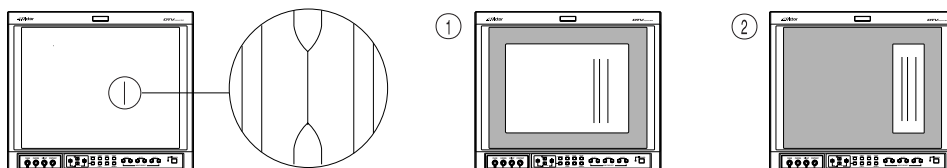
(前面のイラストは DT-V1910C です。)

- CRT 管内反射について (Zoom モードを使用時)
信号のソースにより、映像の一部がブラウン管に反射し画面が白茶けて見えることがあります。故障ではありません。

- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色がつくことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 部屋の温度変化により、モニターから「ミシッ」という音がすることがありますが、画面に異常がなければ心配はありません。
- モニターを2台以上ならべて使用すると、画像がゆれたり、ノイズがでたりすることがあります。これは相互干渉しているためで、故障ではありません。
モニター間に影響がなくなるまで離したり、使っていないモニターの電源を切るなどしてください。

画面に黒いたて線がみえる！

アパーチャグリル方式 CRT では、輸送中の振動や衝撃等でアパーチャグリルが位置ずれをおこし、黒いたて線が生じることがあります。



このようなときは、ディスプレイモニターの側面を手で軽くたたいてみてください。
それでも直らないときは、次の操作を行なってください。

- ① 白ベタ画面を表示し、位置ずれエリアを明確にします。
- ② 「CONTRAST」、「BRIGHT」の調節を最大にし、高輝度白マス画面を位置ずれエリアに表示します。
- ③ しばらくすると元に戻ります。

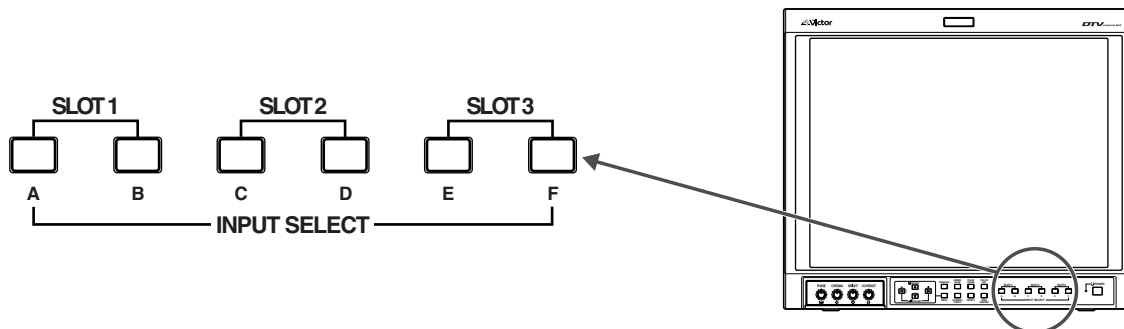
■自己診断表示

画面が消え、フロントコントロールパネルのINPUT SELECT ボタンのINPUT A～Fのランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。

本機にハード的な異常が起きたとき、ランプで本機の状態をお知らせし、電源を切ります。よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。

自己診断表示が点滅したら、次の手順に従って、お買い上げ販売店にご相談ください。



1. どのランプが点滅しているか確認する。
2. 本体背面の主電源スイッチを切る。
3. 電源コードを抜く。
4. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる。

メモ

●電源を切ったすぐ電源を入れると、自己診断ランプが点滅し、映像が出ないことがあります。(瞬間的な停電も含まれます)

このような場合は、一度電源を切り、10秒以上たってから再び電源を入れてください。

自己診断ランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

マルチフォーマットモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に29、30ページの「故障かなと思う前に」にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品名	マルチフォーマットモニター
型名	DT-V1910CまたはDT-V1710C
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	() -
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店 () -
------	-----------------

愛情点検

●長年ご使用のモニター・テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。



ご使用を
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

■ 主な仕様

型名	DT-V1910C	DT-V1710C
種類	マルチフォーマットモニター	
受像管	19型(対角)	17型(対角)
有効画面寸法	37cm(横) 27cm(高さ) 46cm(対角)	33cm(横) 25cm(高さ) 41cm(対角)
走査周波数	水平 15kHz/27kHz - 45kHz 垂直 50 Hz - 80 Hz	
ビデオ帯域	25MHz(-3dB) : コンポーネント入力時 8MHz(-3dB) : ビデオ入力時(Y/C)	
水平解像度	900TV本 : 1080/60i 入力時 600TV本 : ビデオ入力時(Y/C)	800TV本 : 1080/60i 入力時 600TV本 : ビデオ入力時(Y/C)
入力	スロット 1 から 3 に別売のインプットカード装着が必要 INPUT A/INPUT B スロット 1 に装着されたインプットカードに対応 INPUT C/INPUT D スロット 2 に装着されたインプットカードに対応 INPUT E/INPUT F スロット 3 に装着されたインプットカードに対応	
対応映像信号	NTSC/PAL (IF-C01PN 使用時) 480i/480p/1035i/1080i(60Hz/24psF)/720p (IF-C01COM 使用時) D1 シリアルデジタル (IF-C01SD 使用時) D1 シリアルデジタル/EMBEDDED AUDIO (IF-C21SD/IF-C51SD 使用時) HD シリアルデジタル 1035i/1080i(60Hz/24psF)/720p (IF-C02HSD 使用時) 1035i/1080i(60Hz/24psF)/720p/EMBEDDED AUDIO (IF-C12HSD/IF-C21HSD/IF-C51HSD 使用時)	
リモート入力	接点式 1系統 15ピン3列D-sub 端子 X 1 シリアル 1系統 9ピン2列D-sub 端子 (RS-485 準拠) X 2	
音声出力	1 W (モノラル) 8cm 丸形スピーカー 1 個	
環境条件	使用周囲温度 5°C - 35°C 使用周囲湿度 20% - 80% (非結露)	
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz	
消費電流	2.2A (最大2.6A) インプットカード含まず	1.8A (最大2.3A) インプットカード含まず
外形寸法	44.0cm × 37.5cm × 49.6cm ワイドマスク、インプットカード含まず	39.5cm × 33.4cm × 46.65cm ワイドマスク、インプットカード含まず
質量	29.4kg ワイドマスクおよび インプットカード含まず	23.7kg ワイドマスクおよび インプットカード含まず
付属品	電源コード (約 2.5 m) X 1 変換アダプター X 1 POWER CORD HOLDER X 1 スクリュー X 2 (POWER CORD HOLDER 用) ワイドマスク X 1 スクリュー X 4 (ワイドマスク用)	

※ このモニターを使用できるのは国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※ モニターの型(19型など)は、画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。

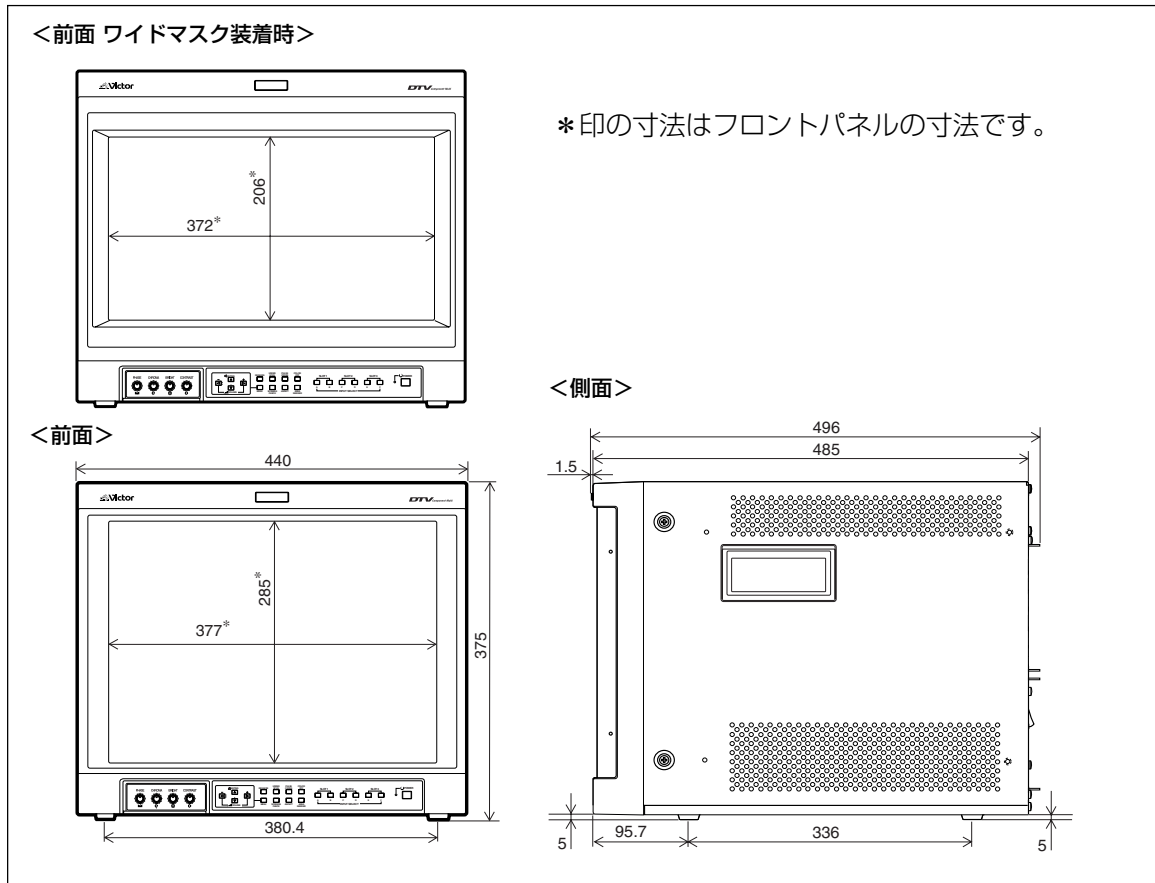
※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ 主な仕様 (つづき)

■ 外形寸法

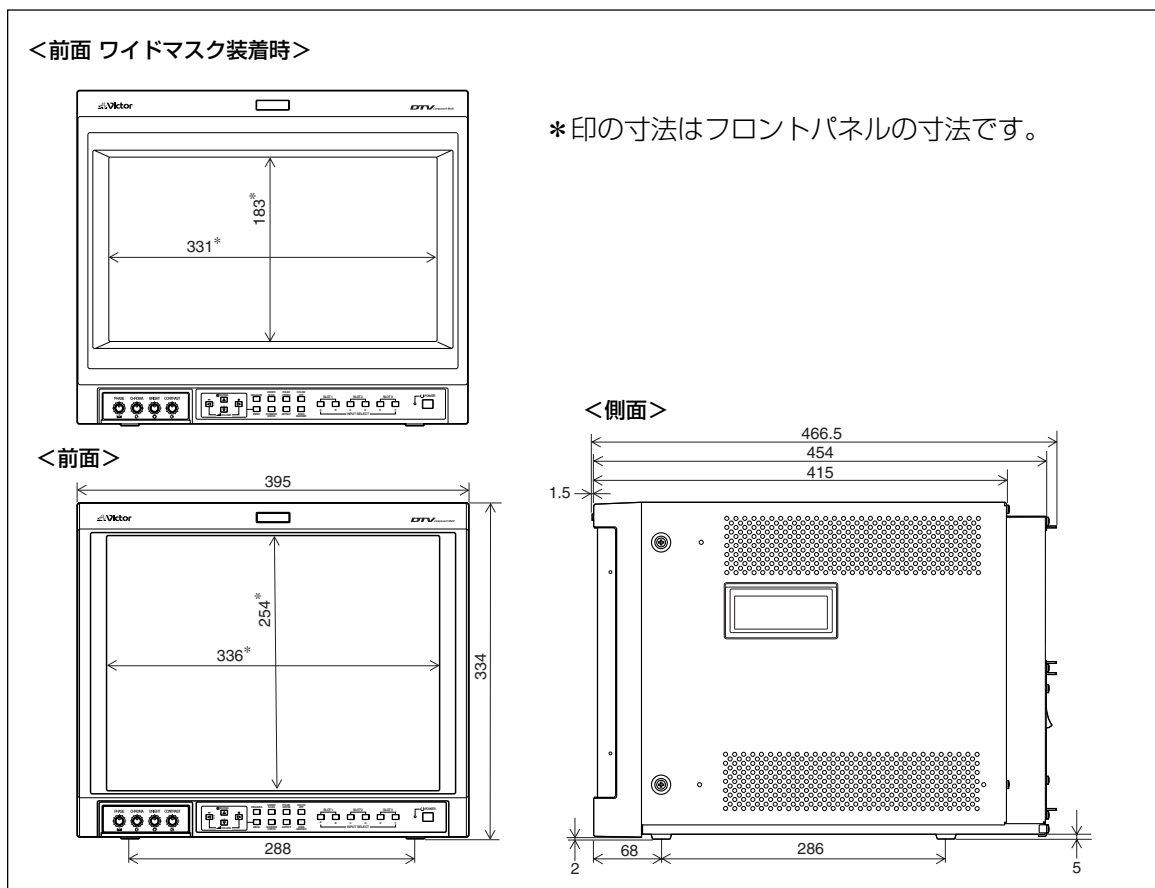
DT-V1910C

単位：mm



DT-V1710C

単位：mm



■インプットカード別の対応する入力信号フォーマット（インプットカード：別売）

入力信号	IF-C01PN	IF-C01COM	IF-C01SD	IF-C21SD	IF-C51SD	IF-C02HSD	IF-C12HSD	IF-C21HSD	IF-C51HSD
NTSC	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
PAL	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
白黒(50Hz/60Hz)	◎	—	—	—	—	—	—	—	—
480/60i(525i)	—	◎	◎	◎	◎	—	—	—	—
480/60p(525p)	—	◎	—	—	—	—	—	—	—
576/50i (*1)	—	○	○	○	○	—	—	—	—
576/50p (*1)	—	○	—	—	—	—	—	—	—
720/50p(720p) (*1)	—	○	—	—	—	—	—	○	○
720/60p (720p)	—	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎
1080/60i(1125i)	—	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎
1035/60i(1125i)	—	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎
1080/24psF	—	◎	—	—	—	◎	◎	◎	◎
EMBEDDED AUDIO	—	—	—	◎	◎	—	◎	◎	◎

◎：入力可能 プリセットされています。

○：入力可能 プリセットされていません。

—：入力不可

*1：576/50i、576/50pおよび720/50pはプリセットされていませんので、必ずセットアップ調整が必要になります。

■ IF-C01COM：コンポーネント／RGBインプットカード

入出力：コンポーネント(Y/P_R、R-Y/P_B、B-Y)またはRGB 1系統 BNC x 6

(Y:1 Vp-p、75 Ω、P_B B-Y/P_R/R-Y/R/G/B:0.7 Vp-p、75 Ω)

同期信号 (HD/Cs/VD) 1系統 BNC x 2 (1.0 V-4.0 Vp-p、75 Ω)

※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続 (自動終端)

音声信号 モノラル 1系統 RCAピンコネクター x 2 (0.5 V (rms)、high impedance)

※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続。

■ IF-C01PN：ビデオインプットカード

入出力：VIDEO1/VIDEO2 2系統 BNC x 4 (1 Vp-p、75 Ω)

※ NTSCとPAL方式に対応

同期信号 (EXT.SYNC) 1系統 BNC x 2 (1.0 V- 4.0 Vp-p、75 Ω)

※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続 (自動終端)

Y/C信号 入力1系統、ミニDIN4ピン x 1 (VIDEO-2はY/C入力優先)

(Y:1 Vp-p、75 Ω、C: 0.286 V(NTSC)/0.3 V (PAL)、75 Ω)

音声信号 モノラル 2系統 RCAピンコネクター x 4 (0.5 V (rms)、high impedance)

※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続。

■ 主な仕様 (インプットカード : 別売) (つづき)

■ IF-C01SD : SDI インプットカード

入出力 : デジタル入力 2系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)
デジタル出力 SWITCHED OUT 1系統 BNC X 1 (0.8 Vp-p、75 Ω)
音声信号 モノラル 2系統 RCAピンコネクター X 4 (0.5V(rms)、high impedance)
※入力 (IN)と出力 (OUT) はブリッジ接続

フォーマット : D1シリアルコンポーネントデジタル、525/625 自動切換 (SMPTE259M 準拠)

■ IF-C21SD : SD インプットカード (EMBEDDED AUDIO対応、AUTO INPUT機能対応)

入出力 : SD SDI 信号入力2系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)
SD SDI 信号出力1系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)
※リクロックアウト

音声出力 : モノラル LINE OUT 1系統 RCAピンコネクター X 1 (250 mV (rms)、high impedance (-18 dB))

フォーマット : D1シリアルコンポーネントデジタル、525/625自動切換 (SMPTE259M準拠)
SMPTE299M (EMBEDDED AUDIO; 48 kHz, 1-8チャンネル対応)
※AUTO INPUT機能対応

■ IF-C51SD : SD インプットカード (EMBEDDED AUDIO対応、AUTO INPUT機能対応、AUDIO LEVEL METER対応)

入出力 : SD SDI 信号入力2系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)
SD SDI 信号出力1系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)
※リクロックアウト

音声出力 : モノラル LINE OUT 1系統 RCAピンコネクター X 1 (250 mV (rms)、high impedance (-18 dB))

フォーマット : D1シリアルコンポーネントデジタル、525/625自動切換 (SMPTE259M準拠)
SMPTE299M (EMBEDDED AUDIO; 48 kHz, 1-8チャンネル対応)
※ AUTO INPUT機能対応
※ AUDIO LEVEL METER機能対応

■ IF-C02HSD : HD SDI インプットカード

入出力 : デジタル入出力 2系統 BNC X 4 (0.8 Vp-p、75 Ω)
※リクロックアウト

音声信号 モノラル 1系統 RCAピンコネクター X 2 (0.5V(rms)、high impedance)
※入力 (IN)と出力 (OUT) はブリッジ接続

フォーマット : BTA S-004B、SMPTE292M (デジタルインターフェース規格)

■ IF-C12HSD : HD SDI インพุットカード (EMBEDDED AUDIO対応)

入 出 力 : デジタル入出力 2系統 BNC X 4 (0.8 Vp-p、75 Ω)

フォーマット : BTA S-004B、SMPTE292M (デジタルインターフェース規格)
SMPTE299M (EMBEDDED AUDIO 48 kHz、1ー6チャンネル対応)

■ IF-C21HSD : HD SDIインพุットカード (EMBEDDED AUDIO対応、AUTO INPUT対応)

種 類 : DT-Vシリーズモニター用HD SDIインพุットカード

入 出 力 : デジタル入出力 1系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)

※リクロックアウト

音声出力 モノラルLINE OUT 1系統 RCA ピンコネクター X 1 (250 mV (rms)
high impedance (−18 dB入力時))

フォーマット : BTA S-004B、SMPTE292M (デジタルインターフェース規格)
BTA S-006B、SMPTE299M (EMBEDDED AUDIO 48 kHz、1ー6チャンネル対応)

■ IF-C51HSD : HD SDIインพุットカード (EMBEDDED AUDIO対応、AUDIO LEVEL
METER対応、AUTO INPUT対応)

入 出 力 : デジタル入出力 1系統 BNC X 2 (0.8 Vp-p、75 Ω)

※リクロックアウト

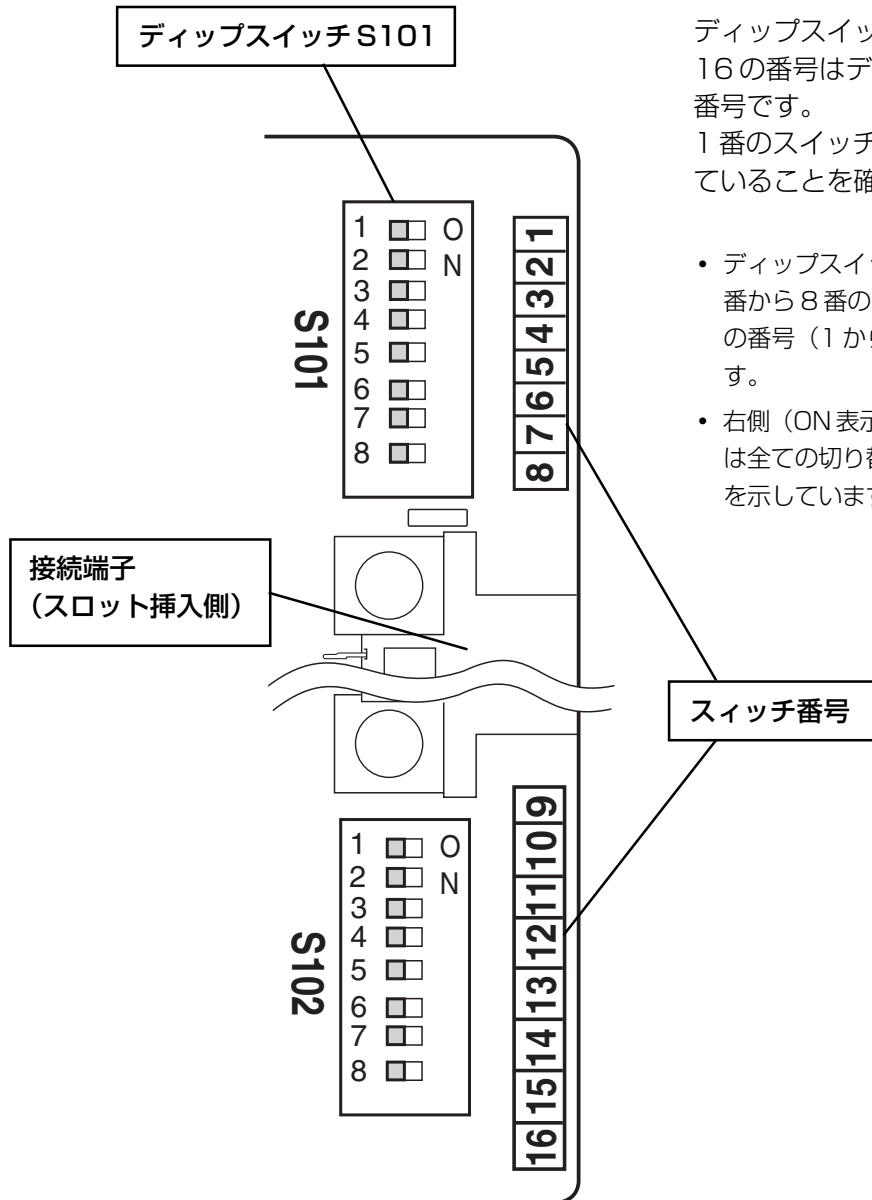
音声出力 モノラルLINE OUT 1系統 RCAピンコネクター X 1 (250 mV (rms)
high impedance (−18 dB入力時))

フォーマット : BTA S-004B、SMPTE292M (デジタルインターフェース規格)
BTA S-006B、SMPTE299M (EMBEDDED AUDIO 48 kHz、1ー6チャンネル対応)
※ AUTO INPUT機能対応
※ AUDIO LEVEL METER機能対応

■ 主な仕様（インプットカード：別売）（つづき）

■ IF-C21SD/IF-C51SD/IF-C21HSD/IF-C51HSD挿入時のご注意

上記インプットカードには、接続端子の上側にS101、下側にS102の2つのディップスイッチがあります。出荷時、スイッチの表面はコーティングされて触れないようになっていますが、機能設定ができないなどの症状がある場合には、必ず下記の点を確認してください。



ディップスイッチの右横の基板に書いてある1から16の番号はディップスイッチの中にある各スイッチの番号です。
1番のスイッチと16番のスイッチが共にOFFになっていることを確認してください。

- ディップスイッチS101の本体上の番号（1から8）が1番から8番のスイッチ、ディップスイッチS102の本体上の番号（1から8）が9番から16番のスイッチになります。
- 右側（ON表示のある側）がON、左側がOFFです。左の図は全ての切り替えスイッチがOFFの状態（工場出荷状態）を示しています。

お客様ご相談センター

東 京

電 話 (03)5684-9311

ファックス (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

電 話 (06)6765-4161

ファックス (06)6765-4891

〒550-0013 大阪市西区新町3-1-31 新町レナウンビル

ビクターホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12